



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成27年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成27年3月	平成27年6月	前回調査比
茨城県	48.9	49.4	+0.5
県北地域	43.6	43.9	+0.3
県央地域	50.0	52.1	+2.1
鹿行地域	50.9	50.4	△0.5
県南地域	50.9	54.5	+3.6
県西地域	49.2	46.1	△3.1

《景気の先行き判断DI》

	平成27年3月	平成27年6月	前回調査比
茨城県	51.6	52.4	+0.8
県北地域	51.7	49.1	△2.6
県央地域	49.6	54.6	+5.0
鹿行地域	50.9	53.9	+3.0
県南地域	52.7	53.6	+0.9
県西地域	53.0	50.9	△2.1

平成27年7月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成27年6月1日現在

地域	市町村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業種名	具体例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	287 人	95.7%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成27年6月調査の調査期間は、平成27年6月1日から平成27年6月30日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは49.4となった。平成27年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

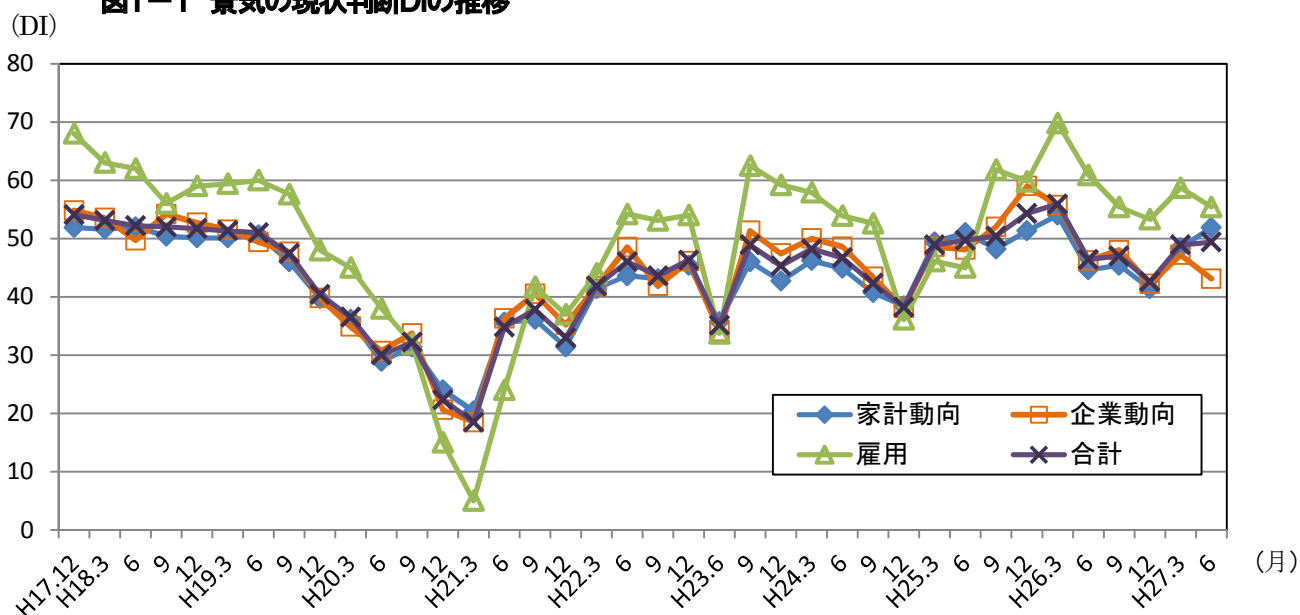
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成26年 6月	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月	平成27年 6月
合計	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4
家計動向関連	44.4	45.4	41.4	48.4	51.9
小売関連	43.9	46.3	41.5	50.4	52.2
飲食関連	46.4	38.1	39.8	48.9	50.0
サービス関連	42.7	45.1	41.8	46.3	52.4
住宅関連	58.3	59.4	41.7	50.0	50.0
企業動向関連	46.6	48.0	42.2	47.2	43.1
農林水産業	57.1	42.9	25.0	43.8	40.6
製造業	47.4	45.7	39.4	43.5	42.6
非製造業	43.2	52.1	50.0	52.9	44.3
雇用関連	60.9	55.4	53.3	58.7	55.4

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 6月	2.1%	23.8%	39.9%	26.2%	8.0%
平成26年 9月	2.5%	18.3%	50.4%	22.5%	6.3%
平成26年12月	1.4%	14.2%	48.3%	25.7%	10.4%
平成27年 3月	2.1%	22.4%	50.0%	19.9%	5.6%
平成27年 6月	1.7%	23.0%	51.2%	19.2%	4.9%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは52.4となった。前回調査より0.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

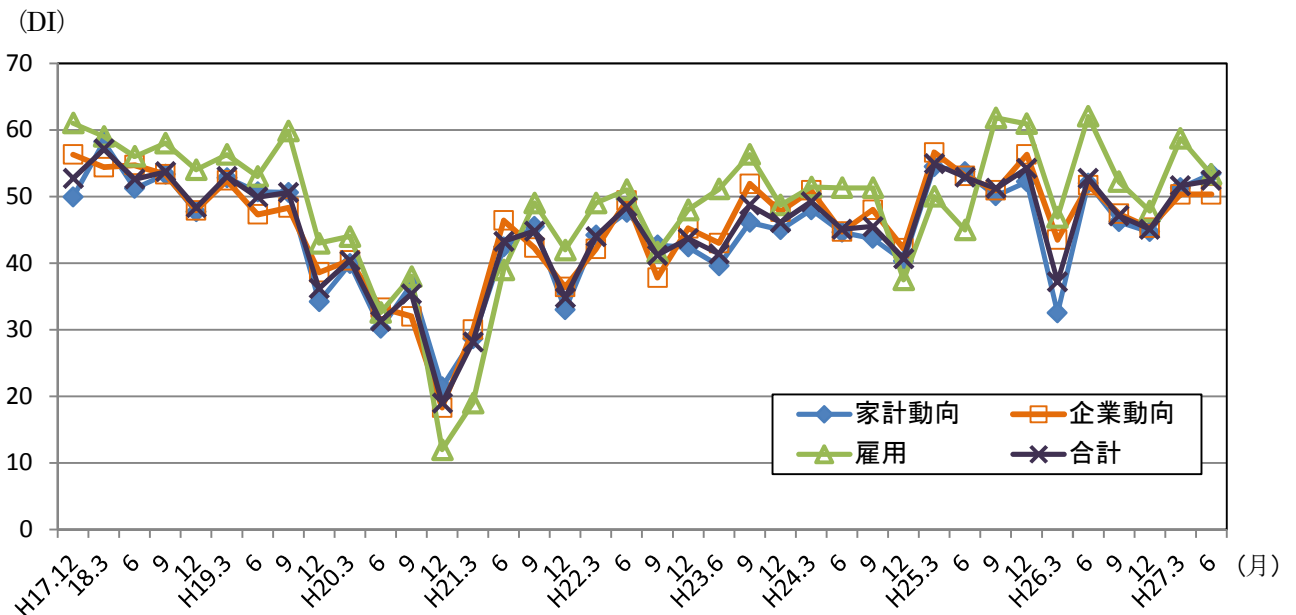
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.7	47.1	45.1	51.6	52.4
家計動向関連		52.1	46.2	44.7	51.3	53.4
小売関連		53.9	50.7	44.9	54.2	53.7
飲食関連		51.2	44.0	46.6	50.0	52.1
サービス関連		50.0	42.2	44.7	49.7	54.1
住宅関連		58.3	53.1	38.9	42.9	50.0
企業動向関連		51.4	47.4	45.3	50.3	50.3
農林水産業		42.9	39.3	31.3	46.9	43.8
製造業		54.2	46.7	45.2	52.2	52.1
非製造業		49.2	50.0	48.6	48.6	49.3
雇用関連		62.0	52.2	47.8	58.7	53.3

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 6月	2.4%	26.9%	52.1%	16.1%	2.4%
平成26年 9月	1.8%	15.8%	56.0%	21.8%	4.6%
平成26年12月	1.4%	13.9%	55.2%	22.9%	6.6%
平成27年 3月	1.0%	27.6%	51.7%	15.7%	3.8%
平成27年 6月	2.4%	24.0%	56.8%	14.3%	2.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは43.9となった。前回調査より0.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		43.4	45.0	46.1	43.6	43.9
家計動向関連		40.7	44.5	46.3	43.1	46.4
企業動向関連		45.8	44.7	46.1	43.4	38.9
雇用関連		56.3	50.0	43.8	50.0	43.8

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	0.0%	19.3%	45.6%	24.6%	10.5%
平成26年 9月	0.0%	14.5%	60.0%	16.4%	9.1%
平成26年12月	5.3%	19.3%	43.9%	17.5%	14.0%
平成27年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	18.6%	10.2%
平成27年 6月	1.8%	14.0%	49.1%	28.1%	7.0%

② 県央地域

景気の現状判断DIは52.1となった。前回調査より2.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を5期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		43.9	46.2	41.1	50.0	52.1
家計動向関連		39.2	43.4	40.1	48.6	55.8
企業動向関連		46.7	46.9	35.9	46.7	40.6
雇用関連		70.0	65.0	65.0	70.0	60.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	1.8%	21.1%	35.1%	35.1%	7.0%
平成26年 9月	3.4%	18.6%	44.1%	27.1%	6.8%
平成26年12月	0.0%	15.3%	45.8%	27.1%	11.9%
平成27年 3月	1.8%	25.0%	50.0%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	1.7%	28.3%	51.7%	13.3%	5.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは50.4となった。前回調査より0.5ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		51.3	50.4	44.1	50.9	50.4
	家計動向関連	47.8	45.7	41.4	52.3	54.4
	企業動向関連	52.6	54.2	44.7	43.4	42.1
	雇用関連	70.0	70.0	60.0	70.0	55.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	3.4%	31.0%	37.9%	22.4%	5.2%
平成26年 9月	1.7%	20.7%	56.9%	19.0%	1.7%
平成26年12月	0.0%	15.3%	50.8%	28.8%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	29.8%	45.6%	22.8%	1.8%
平成27年 6月	1.7%	22.4%	53.4%	20.7%	1.7%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは54.5となった。前回調査より3.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		49.5	51.4	43.6	50.9	54.5
	家計動向関連	52.3	50.8	41.7	51.5	57.8
	企業動向関連	42.6	51.5	45.8	51.4	50.0
	雇用関連	56.3	56.3	50.0	43.8	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	3.7%	27.8%	40.7%	18.5%	9.3%
平成26年 9月	7.5%	24.5%	39.6%	22.6%	5.7%
平成26年12月	1.8%	10.9%	54.5%	25.5%	7.3%
平成27年 3月	5.5%	21.8%	47.3%	21.8%	3.6%
平成27年 6月	1.8%	25.5%	61.8%	10.9%	0.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは46.1となった。前回調査より3.1ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

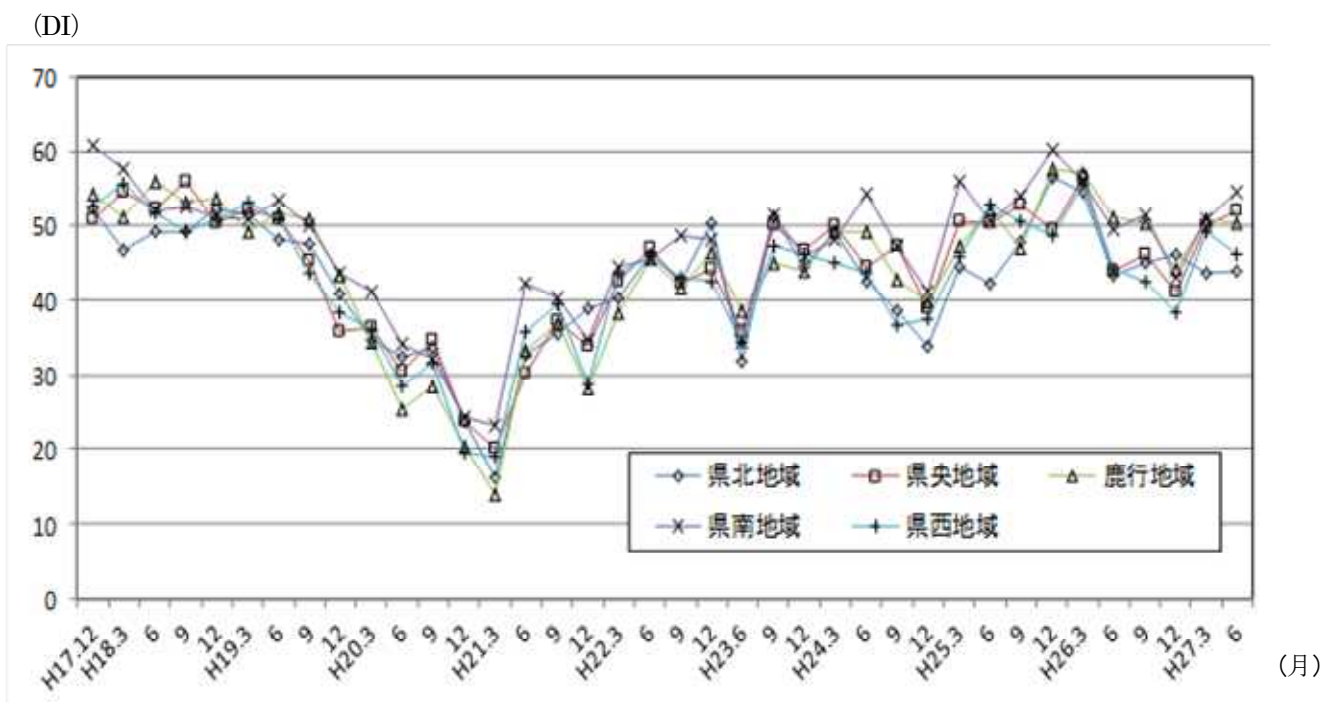
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		44.2	42.4	38.4	49.2	46.1
家計動向関連		43.1	43.1	37.9	47.2	44.9
企業動向関連		44.7	43.1	37.5	51.4	43.4
雇用関連		50.0	35.0	45.0	55.0	68.8

表2-10 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 6月	1.7%	20.0%	40.0%	30.0%	8.3%
平成26年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	27.1%	8.5%
平成26年12月	0.0%	10.3%	46.6%	29.3%	13.8%
平成27年 3月	1.7%	25.4%	47.5%	18.6%	6.8%
平成27年 6月	1.8%	24.6%	40.4%	22.8%	10.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.1となった。前回調査より2.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		47.8	45.0	42.1	51.7	49.1
家計動向関連		46.4	45.3	39.7	51.4	48.6
企業動向関連		48.6	43.4	46.1	51.3	50.0
雇用関連		56.3	50.0	43.8	56.3	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	0.0%	21.1%	54.4%	19.3%	5.3%
平成26年 9月	1.8%	10.9%	61.8%	16.4%	9.1%
平成26年12月	1.8%	8.8%	57.9%	19.3%	12.3%
平成27年 3月	0.0%	30.5%	52.5%	10.2%	6.8%
平成27年 6月	0.0%	14.0%	71.9%	10.5%	3.5%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.6となった。前回調査より5.0ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期ぶりに上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		56.1	47.0	46.2	49.6	54.6
家計動向関連		55.4	45.4	45.4	50.0	58.3
企業動向関連		55.0	48.4	45.3	43.3	46.9
雇用関連		65.0	55.0	55.0	65.0	50.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	3.5%	31.6%	50.9%	14.0%	0.0%
平成26年 9月	3.4%	11.9%	57.6%	23.7%	3.4%
平成26年12月	0.0%	13.6%	62.7%	18.6%	5.1%
平成27年 3月	3.6%	19.6%	53.6%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	5.0%	26.7%	53.3%	11.7%	3.3%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.9となった。前回調査より3.0ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.9	51.3	46.6	50.9	53.9
	家計動向関連	55.1	50.0	45.7	50.8	55.9
	企業動向関連	50.0	52.8	46.1	50.0	51.3
	雇用関連	60.0	55.0	55.0	55.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	5.2%	25.9%	48.3%	20.7%	0.0%
平成26年 9月	0.0%	25.9%	53.4%	20.7%	0.0%
平成26年12月	0.0%	16.9%	57.6%	20.3%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	24.6%	56.1%	17.5%	1.8%
平成27年 6月	3.4%	22.4%	60.3%	13.8%	0.0%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.6となった。前回調査より0.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		56.0	50.0	48.2	52.7	53.6
	家計動向関連	56.8	48.4	50.0	53.0	53.9
	企業動向関連	54.4	50.0	45.8	51.4	51.4
	雇用関連	56.3	62.5	43.8	56.3	60.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	1.9%	31.5%	55.6%	11.1%	0.0%
平成26年 9月	3.8%	18.9%	52.8%	22.6%	1.9%
平成26年12月	3.6%	18.2%	47.3%	29.1%	1.8%
平成27年 3月	1.8%	27.3%	52.7%	16.4%	1.8%
平成27年 6月	1.8%	29.1%	50.9%	18.2%	0.0%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.9となった。前回調査より2.1ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

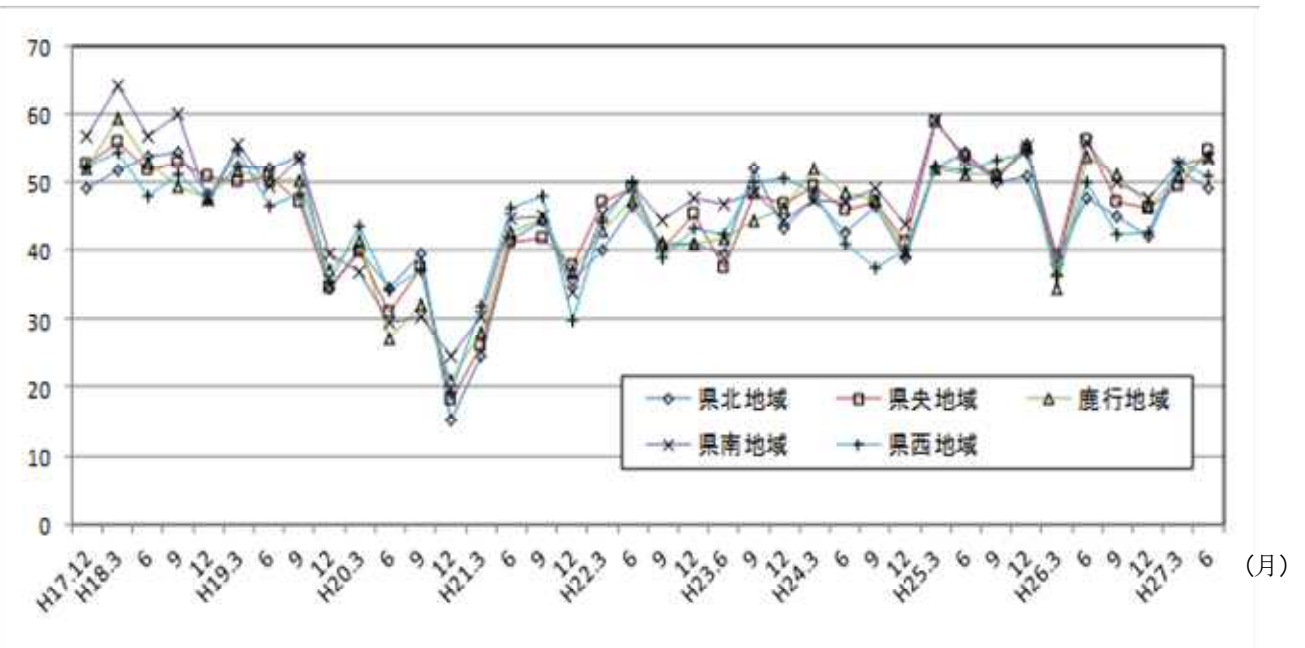
分野	調査月	平成26年	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.0	42.4	42.7	53.0	50.9
家計動向関連		47.2	42.4	42.9	51.4	50.0
企業動向関連		50.0	43.1	43.1	54.2	51.3
雇用関連		70.0	40.0	40.0	60.0	56.3

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 6月	1.7%	25.0%	51.7%	15.0%	6.7%
平成26年 9月	0.0%	11.9%	54.2%	25.4%	8.5%
平成26年12月	1.7%	12.1%	50.0%	27.6%	8.6%
平成27年 3月	0.0%	35.6%	44.1%	16.9%	3.4%
平成27年 6月	1.8%	28.1%	47.4%	17.5%	5.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 東北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ゴルフ場	4~6月の出足予約状況が92%（前年81%）で+11ポイント良くなっている。4~6月の実績来場状況は、対前年比103%で良くなっている。5月の総来場者が、過去10年間で最高計上、前年比116%となる。4~5月の売上げは、対前年比109%と順調に回復している。
やや良くなっている	家計	スーパー	前年消費税UPがあり比較が難しいのですが、 買上げの点数・単価とも上昇しています。商品も良い品質のものについては、買上げ点数が上がっています。特に、メロンは昨年より高値ですが、味が良いとの評価で点数は上がっています。
		衣料品販売店	春物の売上げが好調です。
		スナック	大型店舗が次々オープンしている。
		ドライブイン	客数は128%、売上げも118%と伸びた（3か月前と比較して）。去年と比較しても売上げが102%で好調でした。梅雨入りすると、伸びはストップするので、安心はできません。
		クリーニング店	3か月前と比べて客数が増えている。
	企業	製造業（電気機械器具）	作業量増加。
製造業（電気機械器具）	受注及び引き合い件数が増えている。		
変わらない	家計	スーパー	嗜好品等の動きが徐々に良くなっている。一方、値上げ等のマイナス要因があり、使っている金額は上がっているが点数上昇につながっていないので、裕福さが実感できない状況ではないかと推測される。企業状況は好調推移しているが、イコール個人の景気の良さと言いきれない。
		スーパー	5月の前半は人数・売上げが悪かったが、後半は持ち直した。一生懸命努力しているので、これ以上なかなか良くならない。
		コンビニエンスストア	お店の買上げ単価が減少傾向。値段が上がった商品は売れなくなっている事が多い。
		農産物直売所	来客数や客単価があまり変わらない。シーズ的には天気も良かったが、昨年とあまり変わらない。
		小売業（燃料）	ガソリンの販売量に大きな変化はない。
		小売業（酒類）	飲食店のアルコール販売が良くない。総体的に景気上向き話を聞くが、実態経済とは違う感じを受ける。
		小売業（水産物）	日常生活の食材の購入に関しては、価格をシビアに感じる。余分な買い物をしない。
		中国料理店	今月はボーナスが入る家庭が多いと思います。その事から、お客様の動きはあると思いますが、飲食代についての金額は変わらないと思うので、3か月前と比べて変わらないと思います。
		食堂	客単価が上がらない。チェーン店の方も同じだと思います。まだ外食が出来る人は幸せな方だと思う。コンビニでおにぎりを食べて、すぐ車で水を飲んでる人達が多いです。おにぎりを買うだけ良い方だと。家からおにぎりを持ってくる人も多いです。
		観光型ホテル	プレミアム券などの予約・問い合わせはあるけれど、通常の流れは変わらないと思う。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、宿泊者数、日帰り者数、売上げ、いずれもほぼ例年並みとなっている。
		タクシー運転手	水揚げも横ばいで、お客様の話を聞いてもまだまだだと思う。
		タクシー運転手	景気が少しずつ良くなっていると言われるが、タクシー景気を良くするレベルまでいっていない。売上げ増収につながる中・遠距離乗客の利用回数が少なくなったように思う。
		レジャー施設（かみね公園）	特に目立った変化を感じない。
	住宅販売会社	来店数が伸びない。	
	企業	水産業関係者	判断のきっかけが見受けられない。
		製造業（精密機器）	3月はいつも忙しい時期です。6月はそれほどでもない月です。
		建設業	現在も稼働率は高く、見積り依頼も多くあるので、お客様の設備投資意欲は維持されている。
		運輸業	特に変化を感じない。
		不動産業	相変わらず集客数が伸びておらず、結果的に受注や売上げに結びつかない。
情報通信業（情報サービス業）		商談は来るものの、なかなか進展せず受注に結びつかない。	
運輸附帯サービス業		利幅の少ない仕事ばかりで好転できない。	
雇用	求人広告	需要期が終わり、例年通り落ち着きを取り戻しつつある。	
	学校就業関係者	3か月前と今では勤務地が変わっているが、仕事を通じての印象として景気が変わったとは感じられない。	
	求人开拓員	東北の主力である製造業では、原材料の値上がりで経営環境は厳しいと感じている。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	自店の売上げが落ちている。他者との情報交換で。
		商店街代表者	年度末と比べると、仕事の量がどうしても減ってしまっている。
		コンビニエンスストア	物価は上がっているが、実生活が上向いた感覚が感じられない。
		居酒屋	来店客が少ない。
		観光型ホテル	円安などの影響で流通していないように思える。
		ゴルフ場	高速道路の割引が無くなったのと、消費税の値上げが相まって、都心からの客足が減った。売上げも減った。
		ゴルフ場	来場者数は多くなっているが、客単価が落ちているため、相対的に売上げが落ちている。
		ボウリング場	一般のお客様が減っている。

やや悪くなっている	企業	製造業（電気機械器具）	4月に作業量が減少し、それ以降横ばいで推移している。増加の見込みがない状況である。
		製造業（電気機械器具）	昨年度末よりも、やや売上げが減少となった。
		製造業（一般機械器具）	3月納めの年度物の案件が出荷され、そこと比較すると案件が減っている。
		製造業（輸送用機械器具）	国内の自動車販売は、軽自動車の増税がされたことによって、前年比を大きく割り込んでいる状況。各メーカーは、安全装置の搭載、燃費の向上等を改善した新車投入を図っているが、全体を押し上げるまでに至っていない。北米は依然として好調を維持。
		製造業（精密機器）	仕事量も1割くらいダウンしていますし、見積件数が減っています。今後は1割ダウンくらいで行くと思いますが、先行きは分かりません。
		金融業	地元大手企業の下請業者への受注が少しずつ減少しており、先行きが不透明な状態で設備投資等もほとんどない状況が続いている。また、居住用の不動産についても活発な動きは見られない。
悪くなっている	雇用	公共職業安定所	有効求人数及び有効求職者数ともに減少傾向であり、それと比例して有効求人倍率も減少傾向である。
		家計	小売業（時計）
	タクシー運転手		お客様の注文が減っている。
	企業	林業関係者	消費税増税のおおりをうけ、住宅着工も伸びたが、それも一段落という事もあり、市場の動向が悪いと感じられる。
		製造業（電気機械器具）	3か月前も決して良くはなかったが、4月以降、それ以上に景気が悪くなっている。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	旅行代理店	地方創生效果。	
やや良くなっている	家計	スーパー	為替などの影響により、食品は値上げが多いが受け入れられている。客単価がアップしている。	
		自動車販売店	前年は震災の影響で、初回の車検が極端に少なかったが、今年は対象がかなりあり、入庫が増えている。今年いっぱいこの状況は続く。	
		農産物直売所	休日の他県からの来客が、震災前に近くなっている（ゴールデンウィークから）。近県からのバスでの来店が回復している。	
		楽器販売	増税後、停滞していた販売部門がここにきて動き出してきた。	
		観光型ホテル	ゴールデンウィーク後も個人の動きが堅調。訴求力のある企画はよく売れているので、旅行意欲は旺盛かと思える。	
		旅行会社	3か月前と比べれば、5月6月と仕事は増しているように思います。	
		タクシー会社	4月からの売上げ推移から多少上向き傾向にあり、稼働回数・日車営収ともに向上している。	
		観光名所	大企業中心でベアを行ったため、所得が上がった分を消費にまわす傾向があるように思える。遠方の大都市圏のお客様より高額商品の購入がある事から、そのことがうかがえる。	
		ゴルフ場	お客様の予約申し込みが、若干ではあるが増加傾向を示している。	
		スパ・銭湯	今年のゴールデンウィークは、安近短のレジャー思考が現実のものとなって現れたため良くなったと思われましたが、ゴールデンウィーク明けは、通常より少し悪くなった現状にある。	
	レジャー施設	季節的要因もあるが、契約者が増えた。		
	企業	製造業(食料品)	ゴールデンウィークに行きたい場所にランキングされ、また、常磐線の上野東京ラインの開業により、観光客の増加が見られたのかと思う。	
		製造業(金属製品)	3か月前は、年明けの一時的な仕事の減少から回復しつつある状況で、現在は適正な仕事量が確保できている。	
		サービス業(コンサルタント業)	オリンピックを控えているためか、県南での業務が増え始め、結果、今後の景気が良くなっていくと思われる。	
	雇用	求人広告	採用難の話を開く。	
		公共職業安定所	有効求人倍率は、昨年8月より1倍台を連続10か月維持しており、当所で現在実施している「企業の現況及び今後の見通し」調査でも、途中ではあるが、大半が先行き感はずいぶん普通である。	
		求人開拓員	雇用(求人の募集・採用者)環境で見ますと、正社員採用(4月・5月では昨年対比17%増加)が多いので、少しずつ改善されています。当センターで新規求職者は減少傾向にある(4月・5月では昨年対比20%減少です)。雇用環境でみれば、企業情勢が少しずつ好転しつつあるような気がします。	
	変わらない	家計	商店街代表者	ほとんど変化が見られない。
			商店街代表者	4月は年度初めの繁忙期で例年と同等であったが、5月以降、受注量も減り来店客の数も減り、大変厳しい状態です。景気が悪いまま変わりません。
百貨店、総合スーパー			客単価が3か月前と大きく変わらない。	
百貨店、総合スーパー			一部高額品の動きは見られるものの、衣料品関連は引き続き苦しい状況が続いている。	
スーパー			買上げ点数が変わっていない。ただし、客単価は前年比で102.4%と上がっている。このことは、農業生産物の相場高の影響と思われる。	
スーパー			価格の安いもの、特売品などが売れていて、売上げは良くなるが、	
スーパー			景気回復する好材料がなく、原料の価格は右肩上がりになっているので変化は感じられない。	
スーパー			円安、インフレで物価は上昇しているが、給料などの収入上昇が追いつかず、いまだ節約志向が強い。	
コンビニエンスストア			仕事で接する方々や、身近にいる人達のお金の使い方に大きな変化はありません。	
コンビニエンスストア			特に変化なく感じます。	
家計		家電販売店	品物の動きが悪い。なかなか買い替えに結びつかない。	
		レストラン	現在、歓送迎会・総会等の時期に入ってきているが、客単価も大きな変化はない。ファミリーの利用も変わっていない。	
		レストラン	パーティーなどの予算面では、ほぼ前年並みの価格となっている。	
		都市型ホテル	お客様との会話の中で、業種によっては好転しているが、依然厳しい業界もあり、当業界においてもけっして好転してはいない。	
		タクシー運転手	町内にレストランができるそうですが、場所も悪いし景気も良くないし、どうかと思います。近所の人やお客様たちは、何年もつかと噂しています。レストランの向かいには、本屋さんや床屋さんがあったんですがダメでした。レストランでの食事のお客様が、タクシーに乗ってほしいのですが。	
		ドライブイン	急に景気が良くなる要因が見当たらない。観光にとって大事な見聞がこの季節ない。	
		レジャー施設	団体利用客の減少傾向に歯止めがかからない状況ではあるが、減少分を個人客が底上げしているため、全体的にレジャーにかける費用変動は変わらないと感じる。	
		ボウリング場	今月は2ゲーム無料の日があり、その日は開店30分前から混雑し、待ち時間の長い時間帯もあった。少しでも料金が安く済むならば、時間を費やしてもいいと考えるお客様が多いと感じ、人々の経済状況は特に好転していないのだと思った。	
		理・美容店	当店はあまり変わりません。	
		理・美容店	客単価のものがあまり変わらない。	
住宅販売会社	前回の回答同様、顕著な動きがない。			

変わらない	企業	製造業(食料品)	ひたちなか海浜公園とか笠間の陶器市とか、部分的に人出があって好調な所もあるが、全体的には好況になってきているとは言えない。
		製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。
		製造業(窯業・土石製品)	受注量が低迷したまま増加していない。
		製造業(一般機械器具)	3月までの方が良かったが、今はやや悪い方に向かっている。作業量がやや少なくなった。
		金融業	取引先からは、ほぼ全業種にわたり景気が好転しているとの反応は得られていない。事実、3か月前と比較し取引先の資金繰りにおいて、設備資金は勿論のこと、商品仕入等の運転資金需要も伸び悩んでいる状況。
		不動産業	業種的には落ち着いた時期。
		情報通信業(情報サービス業)	大規模商談が少なく、売上げも横ばい推移。新事業年度に入り、首都圏活況に牽引された地元市場の盛り上がりを期待したが、前年同時期と比較してもさほど変化なし。新規投資に関する顧客動向としては、業績は当然として、業態によりかなり異なっていると感じている。
やや悪くなっている	家計	雇用 学校就業関係者	来訪する企業の人事担当者の人数が増加していない。
		製菓料理店	6月は、1年の中でも比較的暇な時期なので仕方ないかと思います。
		タクシー運転手	今月は梅雨の時期のため、お客様が増加するはずだが、3か月前の前年比と今月の前年比を比べると、今月の方が低調になると思われるので景気はやや悪くなっている。
		タクシー会社	水戸駅発の営業回数が若干目減りしている。また、深夜時間帯(22時以降)の電話注文が更に減ってきている。
	建築設計事務所	公共事業の入札状況では、仕事が薄いためかダンピング傾向が目立ってきている。	
	企業	農業関係者	農家の作物の価格は低迷しており、逆に資材の価格は高騰している。
		運輸業(道路貨物運送業)	荷動きが相変わらず鈍い状態が続いている。
サービス業(広告業)		販促チラシの製作本数が、1割程度昨年より下がった。本数と部数を減らす傾向がある。一般消費に悪い影響がでている。	
雇用	人材派遣業	売上げはますますだが、募集コストがかかり、利益率は下がっている。	
悪くなっている	企業	製造業(印刷・同関連業)	弊社だけかもしれないが、直受け以外の仕事が全然受注できなくなっている。
		製造業(精密機械器具)	3か月前は、お客様が年度決算を迎える時期となり、当月受注・出荷が多くなります。そのため、ほぼ例年受注・売上げが増加するので、その月との比較ではどうしても悪くなります。
		建設業	身のまわりや生活圏での楽しいわくわくな気配が消え失せている。

(3) 鹿行地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント		
良	家計	洋食食堂	昨年の9月から、平均で前年比2桁となっている。5月の売上げは開店以来（同月比で）の最高を記録した。		
やや良くなっている	家計	スーパー	働いている人が多くなっているように感じる。クーポン券などもあり、売上げは良くなっている。		
		家電販売店	前々年比での数字が良くなっている。また、ワンランク上の品物で購入が増えてきている。		
		農産物直売所	当所の売上げは、前年よりはこの時においては上昇している。		
		小売業（書店）	昨年からの税率8%の影響があまり出ず、売上げが好調に推移している。周辺の店舗も改装などが多く、お客様も企業もお金を使っている感じがする。		
		和食レストラン	売上げが増加している。		
		タクシー運転手	例年のことではあるが、定期修理期間なので3か月前よりは多少は良い。		
		ドライブイン	おみやげ品など単価の良い商品の売れ行きが好調。		
		ゴルフ場	予約状況から判断すると、やや良くなっているが単価は減少。		
		理・美容店	お客様の来店サイクルが早くなりつつある。		
		企業	製造業（食料品）	製造業（食料品）	天候が良く、夏物が好調のようだ。
製造業（食料品）	自社店舗売上げから見ると良くなっているとは思えないが、デパート等の催事の売上げは、昨年度よりも大幅に伸びており、全売上げからは良い方向を示していると思う。しかし、原材料費の値上げや電気料金等も気になる問題です。また、人件費の上昇も気になります。				
サービス業	年度明けより、顧客からの引き合い、受注件数が堅調であり、過去数年途絶えていた顧客から再度問い合わせがあるなど、営業状況堅調である。また、高速道路の業務用車両の通行量が多いと感じる。				
雇用	公共職業安定所	有効求人数は増加傾向が続いており、有効求職者数は減少傾向。有効求人倍率は19か月連続で上昇している。			
変わらない	家計	商店街代表者	消費者の所得の格差が広がっているように思えます。低価格指向が強いと感じられます。		
		スーパー	お客様が買われる商品の個数も金額も変わっていない。		
		コンビニエンスストア	一部企業では賃上げがあったり、プレミアム商品券の発売など、消費行動の背中を押す動機はあったが、大半の人は賃金の改定はなく、財布の紐は固いのが実状。必要なものだけを買う傾向がある。		
		コンビニエンスストア	客単価はほとんど変化がない。質の良い商品は、価格が高くても購入いただけることが多くなっている。		
		衣料品販売店	昨年比の客数に増加がない。客単価もほぼ横ばいで上がっていない。		
		農産物直売所	お客様の買い物の仕方を見ても、特に以前と変わった様子はない。相変わらず、値段ありきの買い方のお客様が多く、財布の紐も固い感じがする。		
		小売業（菓子類）	3月の対前年比の売上げと今回6月の対前年比はほぼ同じである。		
		小売業（薬品店）	店舗の売上げも対前年比からの伸びもなく、中小企業への納入実績は減っている。		
		小売業（食品）	小売の売上げは伸び悩み、前月と同じくらいだ。良くもなければ悪くもない。		
		割烹料理店	売上げ自体はそんなに変わらないが、消費税が3%上がった事が、ジワジワと負担としてきている。		
		日本料理店	円安などの影響で、原材料の仕入れ価格の値上げが続いたため、利益が減っている。		
		海鮮料理店	変わらないとしたが、お客様の人数は4月、5月、6月は多いと思います。しかし、1人ずつに使っていただく金額が少ない。休日が多くなって、お客様がかえって家族で外出する機会が多くなった分、お金を使わない工夫をしていると思われる。		
		観光型ホテル	3か月前と比べてみても、高いコースを頼まれるお客様と安いコースを頼まれるお客様の割合があまり変わらない。		
		タクシー運転手	仕事上良い面もあろうかと思うが、とかく自分の会社は悪い面ばかり目につき易いものかも知れないが、お客さんからも良い話がない。また、今は定修時期でホテル関係は満室なのに、タクシーは動かない（レンタカーまたは自転車での移動があるようです）。		
		レジャー施設	（地域）社会における需要増（投資増）もあまりないと思われることや、個人消費につながる賃金の増も期待できるものではないと思われる。		
		理・美容店	地域の景気向上が見られない。		
		住宅販売会社	展示場への来客数は下げ止まった感があるが、まだ回復とまでは言えない。		
		住宅販売会社	売れ行きも変わらない。貸家の空き状況も同様。		
		企業	製造業	農業関係者	野菜等が昨年と比較すると単価高傾向にあるが、消費者の購買意欲がまだ強く感じられない。
				製造業（食料品）	末端製品価格UPが影響していることもあって、販売数量の伸長が鈍い。
製造業（電気機械器具）	GW明けにやや落ち込んだが、6月に入り引き合いが多くなってきた。国内回帰の動きもあり、また、少しずつではあるが、回復の兆しが見えてきているのかもしれないが、予断は許されないとと思う。				
製造業（鉄鋼業）	前年比1割程度の減産中だが、生産回復に向け、補修等の準備をしており、特に減産による影響が感じられない。				
金融業	毎年行われている「臨界工業地域」の定期修繕工事においては、昨年の1/3程度の規模であり、建設業関連・地域商店街・飲食業等に特段の景気回復感は見られない。3か月前と比較しても変わらないものと思われる。				
不動産業	ほとんど変化を感じない。				
内装工事業	ばらばらと新築が建ち始めてきているが、まだまだ力強い波が来ないです。				
火力発電所	発電量に変化は見られない。				

変 わ ら な い	雇用	人材派遣業	鉄鋼部門及び化学コンビナート、共に生産は順調の様子。共に素材産業であり、製品部門もかなりの繁忙を極めていると思います。国内はもとより、円安もあり、輸出産業は旺盛な生産にあり、業績面も堅調に推移するものと思います。
		民間職業紹介業	前回と同様に、求人企業は増加していますが、求職者（登録者）の割合が少なく、マッチングが図れていない状況が続いています。
		学校就職関係者	特段の変化した情報もないことから、3か月前とは変化ないと思われる。
		求人開拓員	スーパーで消費税増税後にオープンした店舗においては、売上げが順調に伸びているところもあるが、消費税増税で売上げが一時的に大きくダウンしたところが多く、増税の影響は大きかったが、現時点では増税前の水準に戻りつつある。
や や 悪 く な っ て い る	家計	精肉店	仕入単価が2～3か月で上がっており、売り値が上げられないために厳しい円安の影響が大きい。
		タクシー運転手	当地特有の工業団地で、一斉による定修工事（5月～6月）で、人の出入りが少なく現況維持が厳しい。
		タクシー運転手	例年ですと、コンビナートの定期修理で忙しくなるのですが、乗車率も伸びず低迷している状態です。
		クリーニング店	農家の方が多いが、3・4月に雨が多く気温が低かったので、果物（メロンの網目がよくでない）や野菜の秀品が少ない。植え付けが遅れた。
	企業	製造業（食料品）	閑散期（秋・冬場が繁忙期）になってきた。
		建設業	景気上昇とは程遠い感じがします。
建設業		建設業、土木関係の仕事が少なくなっている。土木は復興事業が終わりに近づいて、建設は着工件数が少ない。大手ハウスメーカーも受注が少ない。	
企業	運輸業（道路貨物運送業）	春先3月後半までは、在庫の積み増し状態がある一定期間続き、運送もそれに伴い動きがあったが、新年度に入り、5月連休明けから動きが減速傾向になっている。貨物確保に際し、競争になっている。	
	保険業	道路、建設、その他の工事が少なくなっている。建設機械リースが出ていない。	
悪	企業	製造業（食料品）	受注が減り、売上げが下がった。

(4) 県南地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント		
良	家計	専門スーパー	消費税8%になって1年が過ぎたが、昨年が非常に悪かった。		
やや良くなっている	家計	スーパー	原料の値上がりにより、メーカーの仕入原価が上がり、売価も上がった。売上高も、それにより多少良かった。		
		スーパー	消費税税率アップから1年過ぎて、昨年は6月くらいまで前年売上げが落ち込んでいたが、今年4月以降は、前年の105%~110%で推移しています。		
		和食食堂	潮来の観光シーズンなので、他県からのお客様が見えています。		
		日本料理店	4~5月にかけて牛久市、牛久沼がテレビで紹介された影響か、来客数が増えた。それと、飲み物(酒)が飲酒運転の影響であまり出なくなったが、食事の単価が上がった。		
		都市型ホテル	消費税増税に関しては、全く話題にも上がらず、景気は変わらない。しかし、中国・韓国など多くのインバウンドが日本に来ていることで、東京より溢れた宿泊客などを取り込むことができている。中国の景気はバブル期のように、マネーを落としている。その恩恵で、日本もやや良くなっているかと思われる。		
		ゴルフ場	来場者の増加がある(季節要因を加味しても、増加率が高い)。		
		ゴルフ場	予約等の動きは遅いが、最終的に来場者数は増えている。景氣的に良いとは言いがたいが、やや良くなっていると判断できそうだ。		
		ボウリング場	消費税に慣れたことや、ペースアップ等があることで、財布の紐が緩んだかも。		
		レジャー施設	来場者数・客単価ともに前年度同時期よりも若干増えている。		
		住宅販売会社	高所得者層の購入が増加してきた。		
企業	企業	製造業(食料品)	我々の業界は、お中元、お歳暮等季節的なものに左右される要因が多いので、それを除いての判断は難しいが、ゴールデンウィーク中の人出も多かったように思う。それに伴って、売上げも前年よりは増加している。		
		製造業(非鉄金属)	受注増加が続いており、生産量向上。		
		建設業	当社では、近頃の受注情報として15%程増えつつあります。成約については、取引先により多少ずれ込みあり。民・官工事では、官の注文が増加傾向、特に研究機関の指名も増え、受注も徐々に増えている。同業他社も、皆さん元氣だと伺っている。		
雇用	求人開拓員	私の職種上、ハローワークによく行って、求人情報を収集することがある。ハローワークの求人コンピュータを見ると、前月受理した求人票が3か月前より3倍くらい多いように感じる。			
変わらない	家計	スーパー	単価上昇分で売上げが上がっているだけ。		
		スーパー	自店では、売上予算と前年売上げを100%クリアしたが、販売の点数や買上げ率などは9.8%と割れている。この傾向は、景気が良くなっているのではなく変わっていない。変わったのは、お客様が買い方を工夫してやりくりしているのだと推測出来る。		
		コンビニエンスストア	直近での変化はあまり感じられない。		
		コンビニエンスストア	お店のお客様の来店数、買われ方に変化はないように感じる。		
		農産物直売所	当店は、常連客、リピーターが多いため、売上げ集客は前年対比、前月と変わらず横ばい。		
		小売業(食品・酒類)	良くも悪くもなく、横ばいの状態である。		
		小売業(生花店)	近年、生花店の廃業や縮小により、常連客以外のお客様は増えているが、直接景気回復基調にはないように推測されます。ホテル・学校・病院の新規のお客様が増えてきている。		
		和食食堂	来店客数は減っているものの、客単価は上がっている。二極化してきているものと思われる。		
		寿司店	お客様の来店数もほとんど変化がありませんし、景気についての話もほとんどありません。		
		都市型ホテル	レストランや宴会については、客単価が伸びずほとんど変化がないように思われる。宿泊においては、海外からの予約が増えているが、国内の景気とは関係がないため、全体的に変わらない。		
		旅行代理店	旅行を希望されるお客様の人数が減っているようには思えないが、旅行費用などはとても厳しい。		
		タクシー運転手	駅構内でのタクシー利用のお客様が、ここ数か月横ばいである。		
		タクシー運転手	5月の大型連休を過ぎてから乗車回数が減っている。また、水揚げも横ばい状況である。		
		タクシー運転手	お客様の会話などから、何も変わっていない。		
		タクシー運転手	給料日直後の平日でも、飲み屋からの注文が伸びない。		
		タクシー会社	先日プレミアムつくば、いばらきプレミアム周遊券と発行したが、たった2日で完売でした。皆、よく調べて買っていると思った。お得な情報に瞬時に飛びつく様には驚きます。その点からも不景気だと思った。		
		パチンコ店	お客様の消費自体も、仕事の内容からも、現状では忙しい感じもなく、かといって悪くなっている感じもない。おおむね横ばいの感じがする。		
		理・美容店	カット専門店に行っていたお客様が戻ってくるなど、多少良くなった感もあるが、来なくなったお客様もいるので、そんなには変わらないと思います。		
		企業	企業	農業関係者	当所組合員等の購買推進事業についても、お客様の反応が悪い感じにとれます。3か月前と比較して同じです。
				農業関係者	6月期(初旬まで)の来客数・客単価を今年度3月期へと比較すると、両者ともにほぼ変わらない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較しても、若干の減少傾向はみられるもののほぼ変わりはない。
製造業(食料品)	客単価、客数とも3か月前と比較してあまり変わらない。				
製造業(飲料)	大きな変化は見られない。				
製造業(家具・装備品)	仕事や製造の方は急がしく、展示場の方は同業者が増え、売上げは横ばいだと思います。これからも同様かなと思います。				
製造業(一般機械器具)	何の変化もなかった。				
建設業	3か月前は年度末なので、工事が多いのが当然だが、今年はそうでもなかった。今月は工事受注が伸びてきているので、景気が良くなってきているかと思ってしまう。しかし、3か月前が低調だったので、前年比で判断するとあまり変わっていないと思う。				

変わらない	企業	建設業	受注量に変化はない。
		運輸業（倉庫業）	食品関係は好調を維持している。前回と比較すると1.5倍近く増加している。生産も増えているようだ。食品以外は、通常もしくは若干少ない動きのため、全体的に見ると変わらない。
		金融業	全体的に、業況等に関しては特段の変化は感じられない。新規事業所等の進出も少なく、不動産の売買も多くない状況である。企業の設備資金の需要も依然として少なく、景気自体は3か月前と変化なしと思われる。
		不動産業	2～3月の賃貸のピークという特殊な季節的要因を除くと、売買・建設等の不動産業としての基調と業績に大きな変化はありません。ただし、景気の良い業者、悪い業者の差がだんだん開いているのが実感としてあります。また、場所もIXエリアの良い場所と旧市町村部との格差が開いてきました。
	雇用	人材派遣業	取引先、新規営業による受注が極端に増えることはなかった。
		求人広告	販促広告・求人広告共に予算を渋る傾向は変わらない。
学校就職関係者		特別変化はないように見受けられる。	
やや悪くなっている	家計	小売業（米穀）	今年はGWの連休が長かったせいか、例年よりも飲食店等の売上げ低下がすごいです。ドラッグストアやディスカウントストアの売出し価格（安価）の影響で、仕入価格の上昇分も価格に転嫁出来ないのでは利益は薄い。
		洋食食堂	前年比で大きな売上げの差はなく、むしろ少し良い数字が出ているのに、物価高、消費税、電気代すべてが高くなっているため利益の幅がない。アルコール類が売れないのが一番困る。
	企業	製造業（金属製品）	3か月前と比較すると、6月分の売上げが少し減りそうな気がします。
		製造業（窯業・土石製品）	当社の営業範囲は全国に展開しておりますが、東北地区、特に宮城県は復興関係事業が活発ですが、関東、中部、関西地区は非常に出足が悪くなっており、人手や資材不足による高騰などの影響を受け、工事の進捗が遅くなっており、
		製造業（窯業・土石製品）	震災復興需要も終息し、以前の傾向に戻つつある。
	雇用	公共職業安定所	4月の有効求人倍率を、3か月前及び前月とそれぞれ比較するといずれも低下している。この傾向は3か月連続となっており、今後の動向を注視する必要がある。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	3か月前までは、景気の話が収入に反映している実感がなかったためか、売上げ前年比も低調であったが、直近に来て回復してきている。
やや良くなっている	家計	スーパー	来店数、客単価共に前年に対して増加傾向である。
		家電販売店	平年より気温の高い日が多く、降水量も少なかったため、季節品の動きが良かった。特に、エアコンの動きが良く昨年より売れています。
		専門スーパー	円安で輸入コスト増でも、3か月前と比べると消費動向が若干活発になってきたので、やや良くなっている。
		タクシー会社	圏央道の境古河インターが開通し、各工業団地で新たな建設工事が進んでいるため、法人客のタクシー利用が増えてきている。
		タクシー運転手	企業関係の仕事が増えている。交通量が増えている。お客様から、景気が悪いという話が無くなった。
		ドライブイン	道路事情の改善等もあると思われるが、来客数も徐々に増えており、ようやく景気回復の傾向が見えてきた。
		ゴルフ場	高額商品の売上げが良い。
		建築設計事務所	提出してあった見積りがいくつか動き出した。
	企業	製造業（一般機械器具）	取引先で設備投資をしたり、このところ休日出勤をしたりなどの様子が伺える。3か月前より少々良くなってきているように思える。
		金融業	設備資金に関する問い合わせが増加しており、会社の設備投資意欲が感じられる。
		不動産業	賃貸成約の賃料単価が上昇している。
	雇用	求人広告	クライアントと話していると、広告費や設備投資の増加など、景気の良い話が出てきた。また、新しいお店の求人が増えてきたと思われる。
		公共職業安定所	企業からの求人数は増加している。一方、仕事を探している人は減少しているの、数字だけを見れば景気は良くなっているが、正社員の中でも特に製造業の求人が伸び悩んでいる。一方、求職者は正社員を希望していて、結果、就職数の伸びにつながらない。
		求人開拓員	求人はあっても、求職者は選べる状況。就職困難な方は、学歴がなかったり、免許がなかったり、メンタルの部分で弱い方等、限られた方になる。
変わらない	家計	商店街代表者	相変わらず、財布の紐が固い。どんなに安くしても必要な品しか購入しない。
		コンビニエンスストア	3か月ではさほどの差は感じない。賃金アップもそれほど効果が出ているという実感はない。
		衣料品販売店	円安などにより、商品原価高騰になり、商品もその分価格は上がるが賃金は伴わない。
		農産物直売所	取引先からも景気が良いとの声は聞かれない。前年比で売上げは少々伸びているが、景気が良くなっているとは思えない。
		日本料理店	2017年の消費税のアップ、2020年度の財政収支の黒字化に対する一般庶民の懸念は非常に大きいようだ。果たして、税収の増加によって俵う事ができるのだろうか。今後の社会保障はどうなるのかと心配する人が多く、財布の紐は固い。
		飲食業	売上げ数字から。
		和食レストラン	売上げ的には増えているものの、客単価で見ると、3か月前とほぼ横ばいであり、変わらないと感じる。
		旅行代理店	燃料代は、少し安くなったかと思うと、元に戻ったり、野菜などはより高くなってきていたりする。年金支給額は減額し、保険料などが値上がりしている。老人たちは、長生きしてもつまらない、楽しみが少なくなっていると言う。
		タクシー運転手	会社関係者のタクシー利用は、多少増えてはいるが、一般客の利用が減少している。
		ゴルフ場	予約状況にて。
	理・美容店	忙しいという方々は人手が足りないためであり、さほどに良くなってきたとは思えない。	
	理・美容店	日によって来店客数に片寄りがあるが、トータルで見ると数字に変わりはありません。	
	企業	農業関係者	景気の状態変化は、特に変わらない。
		農業関係者	特に大きな変化は見られない。
製造業（食料品）		株価は上昇し、円安が続いて一部では好況感はあるが全体をみた場合大きな変化は感じられない。	
製造業（印刷・同関連業）		年度末は例年、何かと忙しく、4月にはもっとも身近な選挙があったので、特需も含めて大変忙しく推移し、売上げも上がった。選挙が終わるとバツリと受注も減り、極端な受注減になった。	
製造業（印刷・同関連業）		製造業、商業等いずれもバラつきは散見できても、景気回復と言えるところまできていないと感じる。特に、気分的に高揚、あるいは前向きな傾向が感じられない。これは平常的に利用するものであっても、半年単位での発注から3か月、3か月分が2か月単位という発注傾向から特に感じる。	
製造業（化学工業）		エレクトロニクス、自動車とも例年に比べ需要回復が遅れている。	
製造業（窯業・土石製品）		例年の季節変動にならえば、もっと良くなるように期待していたが、思いのほか伸びてこない。	
製造業（金属製品）		引き合い件数は増加している印象はあるが、受注に至る物件はさほど変わらない。	
雇用	学校就職関係者	商品価格高騰が続き、一般家庭への影響は大きいですが、企業に関しては、求人については上向き傾向のように感じる。例年開催される求人関連説明会の参加企業が1.5倍増。	
やや悪くなっている	家計	自動車販売店	前年市場に届かず、車の販売は若干冷え込みがあるように感じる。大型車の売れ行きが悪く、利益確保が難しくなっている。
		和食食堂	3か月前の歓送迎会等の集まりがなくなり、また、野菜等の原材料の高騰の影響もあり、今月の方が低調でやや悪くなっている。
		都市型ホテル	前年同期と比較して、宴会の利用額等に変化は見られません。しかし、レストランを利用する個人客の人数・金額等共に減少傾向にあります。
		旅行会社	3～4月は、年度末始めだったのと「春休み」があったため、出かけた、買い物したりと、それなりにお金が動いたと思います。今はちょうど控えている時期なのかな、と思われます。ボーナス前と夏休み前、天候も安定していないためか、動きは少々鈍いです。

やや悪くなっている	家計	ゲームセンター	来店するお客様の人数は若干増えているが、客単価が下がっているため、売上げは変わりません。
		レジャー施設	利用者減が続いているという現実がある。また、近隣同様施設のなかで、利用料金の安い施設への流出が見られる。
		住宅販売会社	来店数が伸びず、消費税増税の駆け込み期待はまだ先のようだ。
	企業	製造業（食料品）	例年だと、新商品の発売等で4月から8月にかけて上昇カーブを描いて売上げが伸びるはずが、現状維持かやや減少傾向が続いている。
		製造業（印刷・同関連業）	印刷用紙等の原材料の値上がりにもかかわらず、入札の落札価格の下落が止まらない。
		製造業（窯業・土石製品）	2か月前は良かったのですが、現在は谷の状況ですので、何とか良い状態を作り出したいと努めています。我々の業界の小売を生業としている人達が言うには、「仕事が年々減っている」「跡継ぎがいらない」「もう年だからやめるんだ」という声を少なからず聞きます。
製造業（電気機械器具）		受注量減により、人員体制の見直しが必要となっている。	
	建設業	元気のある企業が少ない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	毎年夏は苦戦しています。5月も20%ダウンしています。
		製茶販売	知り合いの店主の誰に聞いても、良くなったとは言っていない。前にもまして、お財布の紐が固くなっている。通常の値段では買ってくれない。
		和食食堂	御来店いただくお客様の数、配達の数、共に減っています。
		クリーニング店	今の時期は衣替えですが、前年と比較すると1件あたりの品物の点数が少ないです。出費を抑えているのでは。
	企業	建設業	今の時期は、公共工事も少なく、民間も少ないので、3か月前と比較して悪いと感じます。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	各自治体のプレミアム商品券等の要因での景気上昇は考えられる。今年は、米など含めてプレミアム券の発行が多い。
		小売業（時計）	輸入と輸出でかなりの差はあるが、なんとなくムードとして良くなるのでは。
		食堂	ボーナスが出るので少しは良くなると思う。でも、男の人でも中小企業の方は、ボーナスの時は一番いやな時だと言っています。派遣の人は、ボーナスもないので大変だと。せめて少しでもボーナスを手に出れるようにと思う。
		観光型ホテル	プレミアム宿泊券・周遊券の効果が出そう。
		ドライブイン	各社この春にベースアップがあるところが多かったので、秋口には、天気さえ良ければドライブに行く余裕が出るのでは？
企業	製造業（電気機械器具）	7月の内示等では、一部ではあるが持ち直しの傾向が見られる。	
	製造業（精密機器）	通年、6月よりは9月の方が、経験上仕事が出てくる。	
	運輸附帯サービス業	平成27年下期より、発注量増加が見込まれる。	
変わらない	家計	商店街代表者	プレミアム商品券の発売があるので、少し消費が活気づくとは思いますが、地域の消費総額からすると、増額はわずかだと思ふ。
		商店街代表者	手持ちの仕事受注量が思ったほど増えていない。
		スーパー	企業実績が実を結ぶことが実感できるのは、今年の冬ぐらいか、それ以降ではないか。
		コンビニエンスストア	県北の企業の動向などは大きく変化しておらず、人口が増える要素などもない。
		衣料品販売店	夏に向かって売れそうな気配が少ない。
		農産物直売所	お客様の声からも、景気回復の兆しが見られない。
		小売業（弁当・惣菜店）	良くなってほしいという期待感はある。また、良くなるような気配はあるが、まだ不透明である。
		小売業（燃料）	特段の変化は見られない。
		小売業（酒類）	景気の良い話は一部の大手企業に限られ、地方ではまだ先の事と思う。個人店は売上げ減少を止められないような気がする。
		小売業（水産物）	仕入業者やお客様との会話でも、景気が良くなっている内容の話題がほとんどない。
		スナック	先が心配で、収入が少々上がっても、お金を使うのを控えている人が多いと思う。
		中国料理店	大企業などでは、お給料が上がっていると報道されていますが、まだまだ中小企業などには広がっていないので、今後3か月も変わらないと思います。
		タクシー運転手	変わらない。
		タクシー運転手	大手の工場が、接待や飲み会等を控えている。
		タクシー運転手	今後3か月以内に、よっぽど大きい売上げにつながるような景気アップは期待できないし、関連企業の特別な動きの情報もない。タクシー利用は、経費としては大きなものとなるので、少しぐらい景気が良くなってきても、経費削減の意識は続行されると思うので、景気は変わらないとした。
		レジャー施設（かみね公園）	プラス要因、マイナス要因が周囲に見られない。
		ゴルフ場	今般の状況から、良くて変わらない気がする。また、県北のゴルフ場が減少していても客数に伸びがない。
		ゴルフ場	天気予報で、梅雨が6月から7月にずれ、8月冷夏との予報。暑い時だけに、来場者にとって涼風となる。7～9月の現在の予約状況は、3か月前に比べて7月79%（前年56%）、8月47%（同45%）、9月45%（同39%）と順調に進んでいる。
		ボウリング場	新規のお客が増えない。
		住宅販売会社	長期的（1年以上）スパンで見てもいまいと何とも言えない。
企業	企業	水産業関係者	判断のきっかけが見受けられない。
		製造業（電気機械器具）	作業量増加の見通しが不透明である。変わらないとは、やや悪い状態のまま変わらないということです。
		製造業（電気機械器具）	現在の引き合いが活潑な状況は、もう少し続くと思われるが、円安により輸入部品・原材料価格が上昇しており、それらの影響を考慮すると、現在の景気状況から大きく変化しないと思う。
		製造業（電気機械器具）	今年度の上期は、現況と同じような受注、生産計画である。
		製造業（一般機械器具）	3月期が他の月に比べて多いので、現状の作業量が続くものと思われる。
		製造業（輸送用機械器具）	市場を牽引してきた軽自動車は、安全や燃費の改善によって価格も高騰したことで、大幅に短期間で改善するとは考えられない。
		製造業（精密機器）	今後は、現状のままに進むと思います。本当に先行きは分かりません。しかし、特別な物に関しては減ってはいけません。
		建設業	お客様の様子では、当面は変化ないと思われる。長期的には明るくはないように感じる。
		運輸業	特に目新しい話もない。
金融業	企業城下町として、地元大手企業関連に依存している部分が依然として大きく、すべての業種が、今後の景気についても現状と変わらないと思われる。		

変わらない	企業	不動産業	市況が好転する要素が見当たらない。
		情報通信業（情報サービス業）	特に変わる様子がない。
	雇用	求人広告	景気が上向きのような気配はあるが、実感するのはまだ先だと思う。
		公共職業安定所	大量雇用及び大量離職について、事業主・求職者からの情報提供・相談はないことから、ほぼ横ばいで推移するものと史料する。
		学校就業関係者	仕事から景気状況の判断が感じにくい。
求人開拓員	下請け事業所は、コストダウンを強いられていて、今後の受注を考えると、それでも外されないように耐えていくとの事。		
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	実質所得が上がっておらず、継続してやや悪くなるのではと思います。
		居酒屋	年々悪くなっています。
		観光型ホテル	宿泊予約は例年並みに入っているが、日帰り予約が減少しており、予約料理コースも単価が安いコースに人気が出てきた。このままでいくと、景気はやや悪くなると判断する。
		ゴルフ場	現状と同様の状況が続くものと思われる。
		クリーニング店	お客様の話や様子から、景気の良い話はほとんどない。
企業	林業関係者	先行きが見えず、出口がつかまっているように感じる。	
悪	家計	タクシー運転手	お客様が普段買う物の物価が上がり、大変と言う声が多い。
	企業	製造業（電気機械器具）	前半作業量が落ち込み、その後増大するが短期であり、再び落ち込む見通し。上期平均は、2割減予想。

(2) 県央地域 【先行き】

(-: 回答が存在しない。 ○: 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	家計	割烹料理店	3か月先という9～10月。私の店は田んぼに囲まれておりますので、稲刈りの時期となり、農家のお客様が大変忙しくなるので、お昼を食べに来られるお客様や、夜の一杯に期待したいです。	
		旅行代理店	地方創生效果。ただし、更なる先は反動があり悪くなる事も懸念されます。	
		スーパー銭湯	ゴールデンウィークに引き続き夏休みに期待するとともに、いばらきプレミアム券の利用効果は大きく期待できるものと思っていますので、良くなっていると思われまます。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	今のところ悪くなる要因がないので、ほんの少しずつではあるが向上方向にあるように感じます。	
		スーパー	為替の影響により、値上げ影響がまだ継続しそう。	
		スーパー	プレミアム付きの茨城県内宿泊券、市町村商品券が発売されており、今後多くの券が消費にまわってくることを期待している。	
		コンビニエンスストア	各市町村で、プレミアム商品券などで地域が活性化してくれば、消費も動くと考えます。	
		家電販売店	ボーナスが出る所が少しずつ増えている。	
		自動車販売店	新型車が発売になり、購入意欲が高まると思える。また、年末には人気車のモデルチェンジもあり、ユーザーが動いてきている。	
		楽器販売	緩やかだが、物販に動きが出てきているので、急に夏になって停滞が進むとは考えづらいうという、希望的観測。	
		レストラン	夏の納涼会など、前年と比べ問合せが多くなってきている。	
		観光型ホテル	繁忙日は堅調な引き合いがあり、夏休みに向けて旅行需要は高くなると思う。	
		タクシー会社	現状の向上傾向から極端な下降はないものと判断します。お客様の乗車率等も向上しているため、3か月先に懸念材料がないことから、景気向上が続くと判断しますが、利用客への接客・サービス改革向上を進めていく必要があります。	
		観光名所	茨城県や各自治体が商品券の発行等の景気刺激対策を行う事で、普段消費を我慢していたものの部分が購売につながり、発行している間は一時的にはあるが景気が良くなる事が予想される。	
		企業	製造業(食料品)	茨城の観光地が見直され、魅力度アップに期待。
			製造業(金属製品)	現在は、例年よりも先まで仕事を確保している。また、最近では加工業者が決まらず、宙に浮いている案件も散見され、今後の要素の拡大と単価の上昇が期待できる。
製造業(精密機械器具)	OEM先から大量の発注があり、今後月々に分散して売上げ計上となるので、弊社売上げのペースとなります。			
サービス業(コンサルティング)	オリンピックを控えているためか、県南での業務が増え始め、結果、今後の景気が良くなっていくと思われる。			
雇用	求人開拓員	各市町村は、この夏から地域振興対策として、スーパープレミアム商品券の発行があり、地域経済に貢献するでしょう。反面、このまま円安が進めば、諸物価の値上げ(乳製品など輸入が主体のもの)が家計の支出を圧迫する原因のような気がします。このまま国内消費が進めば企業活動が活発になり、雇用情勢も良くなると思います。		
変わらない	家計	商店街代表者	3か月先、景気の悪いまま、変わらないと思います。2011年頃、来店客数はあったが、「とにかく安い商品」と言って客単価が悪かった。その後2年間、高級感のある商品も回復してきたが、最近は「安い物を」「良い物を」と言う、どちらのお客様も来店しなくなった。	
		百貨店、総合スーパー	節約志向が続くと思われる。	
		百貨店、総合スーパー	高額品や化粧品などの消耗品は、あまり時間をかけずに購入に踏み切るお客様が見られ始めているが、衣料品など、持っているもので代替えになるものがあるような商材では動きが厳しくなっている。この動きは以前からあり、今も変わらないため、この先も同じと判断。	
		スーパー	個人差が大きい。広がったと思う。安い物が売れる。また、値引き品が売れる一方、高単価品も売れている。	
		スーパー	可処分所得が増えていなく、節約している家庭が多いように思う。	
		コンビニエンスストア	明確に変化が予測できる要因が見当たらない。普段接する方々の反応にも変化がない。	
		農産物直売所	震災後、一定期間が経過したため、元に戻っただけと思われる。	
		レストラン	ボーナス時期に入り、大手企業は前年を上回って支給のニュースもあるが、まだまだ中小企業まで良い影響は出てこないと思われる。逆に、食品関係の値上がり等を考えると大きな変化はないと思われる。	
		都市型ホテル	受注予約が変化なし。	
		都市型ホテル	夏期の予約状況は昨年並となっており、この先大きな伸びはあまり期待できない。	
		旅行会社	秋のシーズンでもあまり予約が入っていない。	
		タクシー運転手	飲食店からの仕事が少なくなりました。特に、午後8時以降からの飲食店からの仕事はなくなって、売上げが少なくなりました。年金を支給されているから何とか生活しています。	
		タクシー運転手	残暑の厳しい時期なので客の動きが良くなるが、客単価や利益率は減少傾向なので変わらないと思う。	
		ドライブイン	急に景気が良くなる要因が見当たらない。観光にとって大事な見聞がこの季節ない。	
		レジャー施設	施設利用者数や物販業績は対前年同月比では横ばいであり、ここ3か月の見通しにおいても景気動向に対する判断材料は見当たらない。	
		ゴルフ場	例年、夏場は来場者が減少傾向を示す。今後は、天候次第で状況は変動してくると予測される。	
		ボウリング場	長期休暇があるので、レジャーにお金をかける人もいると思うが、あくまで他を切りつめていだけで、金銭的な余裕が増えたわけではないと思う。	
レジャー施設	解約の申し出がない。			
理・美容店	円安とかで身近なものが値上がりするので、良くはならないような気がする。			
住宅販売会社	省エネ住宅ポイント制度も、今のところあまり影響が感じられない。			

変 わ ら な い	農業関係者	9月の米の価格を始めとする農産物の価格次第で左右される。	
	製造業(食料品)	相変わらず、需要の停滞が続く。	
	製造業(印刷・同関連業)	良くなる気配が感じられない。	
	製造業(窯業・土石製品)	継続中の仕事があるので、3か月先までは変わらない。	
	製造業(一般機械器具)	変わらないでほしい。テレビ、新聞は元気良いですね。	
	運輸業(道路貨物運送業)	目新しい引き合いが減っている。	
	金融業	取引先からは、今後の売上げ見通しについて現状維持との声が出ている。一部飲食店関連では、例年の季節増加(猛暑による飲料品消費増など)を期待する話もあるが、天候次第であり、全体的には大きな変化はないとの見通し。	
	情報通信業(情報サービス業)	現在の商談量や顧客の会話から、3か月先の市場において、新たな商談の増加を感じ取ることが難しい状況であり、景気は横ばいと予想する。	
	雇用	人材派遣業	まだまだ好景気とは感じられない。
		公共職業安定所	当所独自調査の結果からすると、管内事業所における業況の今後の見通しとしては、「普通」とする割合が途中経過ではあるが大半となっている状況である。また、一部最近の円安傾向での輸入原材料やエネルギー価格上昇分の販売価格への転嫁が難しいとする企業の声が表れてきている。
学校就業関係者		企業の人事担当者との情報交換で、特段の変化が見られない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	レストラン	原材料の高騰が続いている。
		タクシー会社	好転する要因が見つからないと共に、国会は安保法制議論に偏向して、十分な景気対策が論じられていない。いばらきプレミアム周遊券に期待しているが、効果は未知数。
		理・美容店	6月に比べて9月はお盆明けという事もあり、来客数は少ないように思います。
	企業	建築設計事務所	所属している業界団体の総会出席者とのやり取りでは、大半が先行きは悪くなると予想していた。公共工事の発注も一段落。建築工事費も高止まりと思われ、なかなか民間設備投資も足踏み状態と思われる。
		不動産業	物件の供給が多く、バランスが悪い感じがする。
		サービス業(広告業)	夏場の商戦は、毎度のことで悪い。
	雇用	求人広告	中小企業の倒産が増える気がする。
悪	企業	製造業(印刷・同関連業)	古くからある居酒屋や喫茶店が立て続けに店を閉めたので、個人消費が伸びない影響と思われる。スーパーなどの売上げの落ち込みも大きく予測される。
		建設業	現況より良くなる気配は全く感じない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	理・美容店	次回の来店予約が増加しているので、定期的に出費が出来る中に美容が入ってきている。
	企業	建設業	大企業の社員は、給料もボーナスもアップしています。個人消費が伸びれば景気が上向くと思います。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	プレミアム付商品券の取り扱い開始により、地域経済における経済の循環は良くなるのではないかと見られる。
		家電販売店	天候に左右される部分があるため不明。テレビは4Kが動いているので市場は良い反応です。
		農産物直売所	新聞やその他マスコミなどの判断も含めて、少しずつ良くなってきていると思う。
		小売業（書店）	現状の推移だと悪くなる感じはないです。
		和食レストラン	ボーナス増で良くなる。
		洋食食堂	総額5億4千万円のプレミアム商品券が発売される。お金を使う「きっかけ」になると思う。
		タクシー運転手	当地特有の工業団地での定修終了と、夏期による活況（賞与）を期待したい。
		タクシー運転手	夏のボーナス増額や、地方創生の効果等で個人消費が伸びると思います。
		ドライブイン	プレミアム商品券がよく出回っているため、地方経済への期待が高い。
		クリーニング店	気温が落ち着いてきたので、収穫にも期待できそうです。
	企業	製造業（食料品）	当地でもプレミアム付商品券を発行し、購入額が増加し、また、消費者も20%お得。
		製造業（食料品）	為替円安、株高、原油安が続行しているので、徐々に景気は上向いてくると思われる。
		製造業（電気機械器具）	新規受注、リピートともに好調に推移できそう。新たに導入する設備で対応出来る加工に対して受注が期待される。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			今が良いので、これ以上は良くならないと思います。
スーパー			お客様は、目玉商品を買われるのに集中され、また、値上げの商品の事もあり無駄に余計に買われない。
コンビニエンスストア			収入が劇的に伸びる要素は少なく、先行きへの不安もある。変わらないと考える。
衣料品販売店			昨年比の客数に増加がない。客単価もほぼ横ばいで上がっていない。
農産物直売所			大企業は、給料アップなどしてきているみたいだが、中小企業や田舎の企業は大半が大企業のようにないと思うし、より悪くなっているくらいの感覚がある。
小売業（菓子類）			特に変動するような動きはないと思われる。
小売業（薬品店）			夏物商品は問い合わせが少なく、どの業種でもネット販売に対抗する方法が見えてこない。
小売業（食品）			ガソリン等の値上げも気になる。今年に入り、やや値下げ気味だったが、ここに来てやや上がり気味ようだ。景気は変わらないと思う。
割烹料理店			この何年か、製菓会社からお弁当の注文が入ることがあるが、お弁当ではなく接待をする席が用意されるようにならないと困る。
日本料理店		物価上昇への懸念がみられる。	
タクシー運転手		まったく、お客さんからは良い話が聞かれません。	
タクシー運転手		先行きについては、売上げ増が期待できる要因が見当たらない。	
レジャー施設		個人消費や賃金の増もない状況が変わらない限り、当該地域においては変わらないと思われる。	
理・美容店		多分、変わっていないと思う。しかし、プレミアム商品券には少し期待したい。	
住宅販売会社		この3か月では動きは少ないと思われる。	
住宅販売会社		良くなる兆候がない。これ以上悪くなりようがない。	
企業	農業関係者	まだまだ実質賃金が昨年度と比較しても低い状態が続いており、大企業から中小企業の景気が良くなるにはもう少し時間がかかると思われる。	
	製造業（食料品）	良くも悪くもならない。横ばいではないかと思われる。	
	製造業（食料品）	計画予定の売上げ・生産は示すと思うが、急激な生産コストの悪化がないよう留意が必要に思います。日常の売上げは、伸びがないものの安定していると思いますが、デパート雇事の売上げが大きく影響があり、生産コスト（原材料費・人件費・電気料金）が気になります。	
	製造業（食料品）	しばらくは、今の状況が続くと思う。	
	製造業（鉄鋼業）	急に回復する要素は感じられない。生産が回復する事を期待している。	
	運輸業（道路貨物運送業）	現在の荷動きの悪い状況がしばらく続きそうである。原油の価格が夏以降値上げしたり、原料価格の高騰が続くと、下半期前の在庫が積み上がらない。アイデアを出して、貨物確保をしっかりと進めていかねばならない。	
	金融業	2年後に「神栖警察署」の完成に伴う近隣商業施設の期待、東京オリンピックでの「カシマスタジアム」利用検討報道に伴う好材料はあるものの、現状においては、特段の大きな要因も見られず、横ばいであると思われます。	
	不動産業	景気の良さが感じられません。	
	内装工事業	良くもないし悪くもない。ただ、集金において、現金になるまでの日数が非常に長い。	
	火力発電所	特段大きな変化が感じられない。	

変わらない	雇用	人材派遣業	生産状況の好調は続くと思われ。このことから、客先からの派遣要員の要請も活発であるが、必要な経験者の登録数減少により、客先には大変迷惑をかけている状態である。しばらくの間は、このような事態は続くのではないかと考えられます。
		民間職業紹介業	やはり、求職者が増える可能性が少ないために、現状と変わらないと思われ。
		公共職業安定所	求人受理時には、求人内容について相談・助言を行うが、賃金アップには慎重な事業所が多い。景気改善には、個人消費の改善が必要と思われるが、給与所得の改善が進んでいるのか判断できない。
		学校就職関係者	現在の景気状態は良好であり、このまま維持する感はある。業務の関係上、雇用情勢から判断することになるが、あまり変化の様子はない。
		求人開拓員	地方においては、昇給した話や景気の良い話はほとんど聞かれず、消費の伸びは期待できない。
やや悪くなっている	家計	精肉店	中元時期が近くなるために仕入相場が上ってきているので、この先2~3か月は、多少の間は売れるが利益率が悪いと思う。
		海鮮料理店	今後3か月後は、田舎ならではの風習などで外出が多くなる家庭が多く、夏に向かって色々な行事等で、私どものような業種はお客様が減りますし、その後はよくわかりません。
		観光型ホテル	予約状況は例年の今ごろと同じくらいだが、その前の月の予約状況が、夏休み期間にもかかわらず例年の今ごろより少ないため、3か月先の新規予約件数が例年通り増えていかない恐れがある。
		ゴルフ場	予約状況が直近傾向にある。予約が動かなければ、料金を下げての対応になり単価は減少。
	企業	建設業	慢性的な建設業の労働力不足を考えていかないと、景気上昇にはつながらないと思います。
		保険業	油が少し上がってきている。
		サービス業	円安基調は継続すると考えるが、逆に国内物価の上昇による消費意欲の減退、ヨーロッパでの金融問題、中国の信用不安等、円安による輸出力強化が可能になりながら、それが生かされにくい可能性があると考え。
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	プレミアム商品券の発売により、消費喚起効果に期待しています。
やや良くなっている	家計	小売業（生花店）	5月30日夜間の配達（21時頃、土浦市桜町）で、今までになく酔っているであろう若い人で道路が混みあっており、配達車両の通行に支障をきたす状況で、景気回復の兆しが出てきたようにも見えた。
		米穀小売	今月末から、プレミアム商品券の販売及び使用が開始されるため、一時的に消費は上昇傾向になると思います。使用期限が12月20日までなので、その期間は良いかも？一時的ではないことを願いたい。
		和食食堂	メニューや価格を変更し、また、店のイメージを変えるように心がけている。
		都市型ホテル	宿泊の動きが活発となると、レストランの動きもそれなりに上がって来るので、オンハンド状況でもインバウンドの動きがあることから、やや良くなるのではと思われる。他、婚礼、宴会に関しては、上がることもない状況である。
		タクシー運転手	企業の決算状況の向上により、従業員賞与のアップが報道（新聞より）されており、飲食の機会の増加に期待したい。
		ゴルフ場	3か月前からの土・日曜の予約が早々に埋まる。全体に企業の業態が上向いているのではないかとと思われる。
		ゴルフ場	プレー代等の値段を比較して、安い所を探している感はあるが、予約の様子からやや良くなっていく感じはある。
		ボウリング場	税への慣れ、ベースアップやボーナス等で財布の紐も緩むのでは。
	レジャー施設	来場者数・客単価が増加傾向にある。	
	企業	製造業（非鉄金属）	引き続き受注は増加傾向で、半年くらいは続く見込み。
		建設業	国の研究機関の入札では、8~10社の各社、落札の意欲なし。15~20%以上の上乗せ「札」を入れてきます。当社は10%のUPで「札」を入れるも、当社が最低額となり、最低業者となってしまう。予想外の交渉となり、価格の開きが大きいと難航する。こうした手法が今後続くのではないかと。
		建設業	官公庁の工事はこれからも出てくるだろうし、民間からの見積り依頼も何件かあり、3か月前は工事受注量が増えていると思う。利益率も増加傾向にあり、景気はやや良くなっていると思う。
		運輸業（倉庫業）	例年の動きよりは、やや上向きに考えられる。輸入品も5~6月は多く、生産も好調予想。反面、違う業種は生産・出荷ともに例年通りになっており、通常の動きを予想しているが、良い方向に向かってほしい。
	雇用	人材派遣業	6月中旬頃からの需要が増える見込み。夏に向けての季節的な繁忙が見込める。
公共職業安定所		新卒者の求人受説明会を開催したところ、参加企業が前年度比で増加しており、企業の採用意向が高まっている。また、窓口での求人申込みも増加基調にある。	
求人開拓員		ハローワークの求人コンピュータを見ると、2か月前や先月よりも前日の新求人票がヒットする。景気はやや良くなっているだろう。	
変わらない	家計	スーパー	現状のままだと思われる。
		スーパー	天候次第だが、例年通りの天候なら大きな動きはないのではないか。
		コンビニエンスストア	景気に大きく影響しそうな事柄がない。
		コンビニエンスストア	特に不安要素はないように思います。
		小売業（食品・酒類）	地域によって違いはあると思うが、現在の様子からすると良くなる要素は見当たらない。現状維持を確保していきたい。
		日本料理店	来月7月は土用の丑の日があり、多分忙しいとは思いますが、うなぎの価格が高いのでつかめず。現状維持。
		寿司店	あまり良い状況ではありませんが、そのまま変化はないと思います。
		都市型ホテル	今後の予約については、多少通常より少ないが、現在の状況には戻ると思われるため、変わらないように思われる。
		旅行代理店	物価上昇などの影響もあり、消費に対してとても慎重な気がします。
		タクシー運転手	日中も夜の利用も固定され、新規のお客様が増えてこない。
		タクシー運転手	特に良くなる理由、悪くなる理由がない。
		タクシー運転手	良くなる要素がない。
		理・美容店	暑さによる変動はあると思うが、そんなに急には良くなるはないと思う。消費税増税も控えているので、先行きはどうかはわかりません。
		住宅販売会社	来店数はあまり変化がない。
企業	農業関係者	当組合をとりまく現状は、非常に厳しいものがあります。農業所得を向上させないと景気は良くなりません。3か月後も景気は変わらないと思います。	
	製造業（食料品）	ここのところ、原材料費の値上げがあるので、売上げは増えても利益は変わらないと思う。	
	製造業（食料品）	特に、景気を左右する要因は見当たらず、変わらないと思います。	
	製造業（飲料）	流れが変わるような事項がない。	
	製造業（家具・装備品）	長年の仕事ですので、あまり変わらないと思います。	
	製造業（窯業・土石製品）	例年の傾向として、閑散期に入ってくるので変わらない。	
	製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。	
	建設業	元請の受注が減っているようなので、一部の受注が減ることになるが、全体としては他の新築住宅の受注も受けているので、変化はないと思われる。	

変わらない	企業	建設業	良くも悪くもなく。
		金融業	景気効果等に結びつくような話題も少なく、引き続き現状と変化なく推移するものと思われる。
		不動産業	外部要因的には特段良くなる理由・悪くなる原因も見当らず、全般的に横ばいと思う。
雇用	求人広告	飲食店のお客様と話していても、価格勝負な傾向は変わっていないとの話をよく聞く。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	基本は変わらないにしたいが、 梅雨が長引く予報が出ているため、作物の不良、グリラ豪雨などによるイベントの中止など、マイナス面が多くなると推測できる。 ただ、自店としては、家に長く家族がいるということは売りにつながるのでチャレンジしたい。
		専門スーパー	昨年度4月～6月は、消費税アップで非常に悪かったが、7月からは、若干持ち直したため、3か月後は、6月より少し悪くなっている。ただし、昨年よりは良くなっている。
		和食食堂	政治的な問題や天災が多いことなどから、財布の紐が固くなるのでは。
		洋食食堂	季節的な要因で、夏休みの後は動きがあまりない。食材も秋にならないと、売れるおすすめ品（天然の食材）が入荷しない。
		パチンコ店	株価が良くなっている世の流れとは違い、40歳代以上のお客様がメインなため、年金問題の事件などの影響を受けそう。
	企業	農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（金属製品）	毎年夏から初秋まで良くない。
製造業（窯業・土石製品）		当社の営業範囲は全国に展開しておりますが、東北地区、特に宮城県は復興関係事業が活発ですが、関東、中部、関西地区は非常に出足が悪くなっております。人手や資材不足による高騰などの影響を受け、工事の進捗が遅くなっております。	
雇用	学校就職関係者	実質的な負担増（光熱費・税金面等）による心理的影響が、今後も長く作用すると思う。消費活動に大きな変化はなく、購入数の減少や価格が廉価な物へのシフトにより消費は微減すると思う。	
悪	-	-	-

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	旅行会社	本格的な“秋の旅行シーズン”に入っていくので、お客様は増え、1年の中でもっとも売上げの上がる時期になります。
やや良くなっている	家計	スーパー	直近3か月の傾向から判断すると、秋口までは良いと感じる。
		コンビニエンスストア	買上点数・客単価が伸びてきており、お客様の買い物内容に余裕が出てきたように受け取れます。昇給の流れから夏の賞与UPが見込める中、まだ景気は良い方向に進むと思われま
		家電販売店	季節品と合わせ、冷蔵庫、洗濯機などの白物家電が好調で全体を押し上げている。
		和食食堂	長年の経験で、今くらいの不景気はなかなかないので、これ以上悪くなる事はないだろうと思います。
		都市型ホテル	今月よりプレミアム券の販売がはじまります。色々な面からみて、プレミアム券を購入する人が増えそうです。会話の中で良く耳にもします。消費者の購買意欲拡大につながり、地域全体が少しでも潤うことを願っています。希望もこめて、やや良くなっているを運んだ。
		タクシー会社	新たな法人客のタクシー依頼が増えて期待出来る。
		タクシー運転手	予約が増えている。
		ドライブイン	夏のボーナスも前年対比プラスとの報道もあり、貯蓄から消費・レジャーに多少なりとも流れることを期待します。
	建築設計事務所	市場のにぎやかさが街にも影響しそう。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	需要期に入っているので、今後少し良くなると期待する。
		製造業（窯業・土石製品）	今が当社は谷なので、売上げや収益を上げる努力が効いてくると期待していますし、それ以上に今の状態では会社として成り立ち得ないので、全員が問題意識を共有して業績改善に取り組みます。
		製造業（金属製品）	希望も含め、大手の設備投資増加となれば、若干好転すると思われる。
		製造業（一般機械器具）	このところの受注の様子から、やや良くなっていくのではと思う。
	雇用	求人広告	若干不透明な部分はある。しかし、クライアントから設備投資など、先々の仕事を見越した話が出ている。また、採用についても、どのように採用したら良いのか相談を受ける件数が多くなってきている。
学校就職関係者		求人確保の動きが例年よりも早く、新たな事業所や工場建設の話も聞こえてきている。	
変わらない	家計	商店街代表者	良くなる要素がない（当店のまわりだけかな？）。
		コンビニエンスストア	ボーナスの金額によっては良くなっている可能性はあるが、そこまで実感するような変化が起こることはない。
		農産物直売所	お客様は、品質の良い品物、または自分の好みに合うものであれば、少々値段が高くても購入する傾向は見られると思うが、良くなるとは考えられない。
		専門スーパー	ここ3か月間で、若干の客数、客単価、利益率が増加傾向だったが止まってきている。小売業にとって、景気回復の好材料となる政府案が見えてこない。
		製茶販売	変わる要素が見つけられない。
		和食食堂	今月に比べて客の動きも回復すると思う。また、客単価や利益率も増加傾向になると思うが、あまり期待が出来ないので変わらない。
		飲食業	どうしても、個人所得が上がり、消費意欲が増してこないと思われないと思います。
		和食レストラン	来客数に大きな変化はなく、この先も景気が特段良くなるような理由や情報などが見当たらない。
		タクシー運転手	駅からの朝のタクシー利用者は増えてきたが、日中及び夜の利用者が少なくなっている。
		ゴルフ場	予約状況にて。
		ゴルフ場	現在がやや良い状態なので、感覚的に現状維持だと思ふ。現在より良化、悪化する要素は特にない。
		レジャー施設	原材料高騰に伴う価格の変化に敏感になっており、消費が3か月前以上に落ち込んでいるように感じる。
		理・美容店	生活必需品が高騰してきたために、来店サイクルが更に長くなった感がある。特に女性客の来店サイクルが、これ以上悪化しない事を望む。
	理・美容店	3か月前、6か月前と遡っても変化はあまり感じないので、3か月前も同じだと思う。	
	住宅販売会社	短期スパンでの景気変動が感じられない。	
	企業	農業関係者	景気状況が変化する要素が確認できない。
		農業関係者	お客様の動きに変化が少ない。
製造業（食料品）		円安が続き、食品を始め、多くの商品が値上げを実施していく現状では、景気が上昇していくとは考えにくい。	
製造業（食料品）		取引先の受注予定を聞いているが、不確定要素が多く希望的予想に聞こえる。一部の業種では確かに回復基調だと思うが、食品業界では実感として景気が良くなったとは感じられない。	
製造業（印刷・同関連業）		今年の夏は、暑くなるのか、それとも冷夏になるのか。梅雨明けは7月20日前後か。箱根の大湧谷や浅間山の小爆発と、4年前の東北大地震以来、特に自然が穏やかでなくなってきた。景気も、70%以上の国民が中流意識を持っていた時が一番好景気だった。大都市、一極集中、または大企業のみがアベノミクスを満喫し、好景気でも地球の静かさ、人間の安心・安全は得られないだろう。	
製造業（印刷・同関連業）		「良くなっている」と感じれば、発注数量、回数などに表れるがそれが変化しない。お客様が「良くなっている」と感じれば、前向きな発注（数量・単位の増加は単価引き下げに直結する）傾向が出てくるが、未だその傾向が見られない。	

変わらない	企業	製造業（化学工業）	最終製品である自動車、パソコン、スマホ等の需要増の動きが見られない。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注動向の把握は難しい状況にあるが、当面は現状の対策を継続する見込みである。
		金融業	昨年とほぼ同水準の売上げで推移している企業がほとんどであり、また、給与所得者の所得の増加は感じられず、消費を控えているとの意見が多くある。今後の景気もさほど変わらないものと思料される。
	雇用	求人開拓員	今の状況が数か月の内に大きく変わる感じは受けない。
やや悪くなっている	家計	衣料品販売店	商品の物価上昇になれば、財布の紐は固くなる。回転しなくなる。
		日本料理店	自然災害も多く、いつ我が身に降りかかるかと考える人が多くなったと思われる。スーパーの店員の話によると、最近トイレットペーパーを購入する人が増加した、など生活の実態が防衛の方向に動いているように思われる。日本料理店は後継者もなく、将来は心配だ。
		旅行代理店	ガス代が新料金になった。4月から正式に運用していますが、お客様からなぜ上がったかよく聞かれていますので、政府のPRが少ないと思う。料金アップした影響がでてきているので、今後は増々厳しくなると思います。
		ゲームセンター	客単価が下がっているため、今の状況を維持するのは難しいと考えています。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	需要が伸びる要素がまったく見当たらず、受注量の減少。利益の低下は、引き続きと思われる。
		建設業	境工事事務所管轄地域ですが、予算が少ない。民間では元気のある会社が少ない。
		建設業	公共工事がどのくらい発注されるかによりますが、今年は仕事量が少ないように感じます。お客様の感じも、上向いている感じはあまりないように感じます。
	雇用	公共職業安定所	中小企業の景気回復は大企業と比べて遅く、結果、大企業の少ない県西地域全体の景気は先行きが不透明である。
悪くなっている	家計	商店街代表者	我が市でも、秋にプレミアム商品券が投入されますが、継続する事業ではないので、その時の売上げは見込めますが、その後の反動が恐ろしいです。
		自動車販売店	購入来店客も少なくなったように思われます。
		クリーニング店	梅雨から夏に向けてイベントなどが多くなるとは思いますが、話を聞くと、給料が上がっていない、ボーナスが期待できない、などの声があり、イベントなどしても出費を抑えるのではないかと。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	小売店、飲食店ともに、地方の中でも格差が広がっているように感じる。特に飲食店では、周辺環境（近隣企業の業績）の違いによって決まるとも言える。
	商店街代表者	50年近く取引のあった新潟の商社が廃業するという。時代の変化と共に業態を変え、継承する事が出来た企業だけしか生き残る事が出来ない、厳しい環境にいる事を経営者として忘れてはならないと感じさせられた。
	スーパー	嗜好品の動きが良くなっている。以前のような買い控え傾向は見られなくなったような気がする。高単価商品の動きも向上しているように思える。
	スーパー	スーパーのチラシ特売5店舗が、火曜日、金曜日に入っても来店人数・売上げが変わらない。チラシの効果が薄れている気がする。
	スーパー	企業での人材確保対策としての福利厚生等の職場環境改善の話が多く聞かれる。従業員用トイレ等の改修や賃金のUPなど、人に対する投資増加。工事業者も忙しくなっていると。パートさん、アルバイトさんの賃金もかなりアップしている。所得は増加する。
	小売業（弁当・惣菜店）	原材料よりも、包装資材などの値上がりからか利益を圧迫してきている。部分的ではあるが、原材料の値上げも不安材料です。ただ、一時の値上げ不安はなく、価格転嫁に関しても消費者からは一様の理解は得ているようだ。
	小売業（燃料）	節約志向は続いていると思う。
	小売業（酒類）	高齢化が進み、お酒の消費量が減少しているが、高級ワインの販売が少しづつ良くなっているような気がする。
	小売業（水産物）	最近、TVで茨城県内の観光や食べ物等の放送が増えた為なのか、遠方からのお客様が以前より若干増加したように感じる。
	レストラン	それほど変わらないと思いますが、全体的に皆さん口にするのは、景気の回復はいつだろうと。店主も皆、高齢者が多くなっているの、いつ店をやめようかと言う事を話しています。
	居酒屋	店じまいの店が多い。
	スナック	エコカーに乗り換える人が増えている。
	中国料理店	景気の良い所・悪い所が、ますます目立つような気がします。東京の方ばかりではなく、茨城の方も早く景気が良くなってほしいなと思います。
	食堂	38年営業して思う事。245号通りで個人営業で続けていけるだけ幸せに思う。皆様、客ではなく身内だと思ひ付き合ってきたからご褒美だと思。海浜公園の遊具を作った方達が25人で来てくれて、1か月間毎日食事をしてくれて楽しかった。若かった日の思い出話が出来て、営業していて良かったと思う。でも、今仕事がなくリタイヤした人達もいて、幸も苦もあり複雑な気持ちになった。会社の人達は年金で、下請けの人は年金もなくて複雑な気分になりました。
	観光型ホテル	あまり変化はないと思う。
	観光型ホテル	プレミアム宿泊券・商品券が県や市町村で数多く発行されており、人気も高いと聞いている。しかし、これらのプレミアム券が発行されなくなった時、県内利用者が減少し景気は低迷しないのでしょうか？
	タクシー運転手	県で発行したプレミアム宿泊券や周遊券が、タクシー乗車につながってくれれば良いと思います。
	タクシー運転手	当方タクシー利用先の大手企業の夏のボーナスも出揃い、夜の飲食街へ出向きお金を落としてくれると、必然的にタクシーの利用も多くなり売上げアップとなります。しかし、最近はその方のお金は誰が抑えるのか、ボーナス支給後に飲食街へ繰り出すという図式とならなくなってきた。やはり、不透明な世の中の景気や、会社の雇用も一生保証されるわけではなく経済環境も相まって、財布の紐を固くしているのであろうか。
	レジャー施設（かみね公園）	県北地域の景気は、小売店などの顧客の購売を見ておみると、依然として厳しい状況にあると感じます。
	ゴルフ場	平日の来場者が65歳以上の方が多くなって若者が減少した。
ゴルフ場	今年の10月1日にスポーツ庁が発足するとの報で、スポーツによる健康増進の風潮に期待できそう。各市町村の地方創生への取り組みにより、アウトドアスポーツの展開に追い風となるよう働きかけたい。	
クリーニング店	5月度については、天気が良く、業種によっては売上げが増加した所もあったようです。	
住宅販売会社	特に日立を中心としたこのエリアは、まだまだ景気回復に時間がかかりそう。	
企業	林業関係者	全体的に物価の上昇、収入低下。
	製造業（電気機械器具）	作業量減少が継続している話題が多く、景気が即好転する様子はいかがいえない。
	製造業（電気機械器具）	物価が上昇しているのを感じます。食べ物や日用品等の価格が上昇しているか、同価格であれば内容量が少なくなっているのを感じます。でも、これで買い控えると、景気が悪くなるので無理な買い控えはしておりません。
	製造業（電気機械器具）	同じような業種の企業間においても、忙しい会社と忙しくない会社が二極化しているように感じられる。
	製造業（電気機械器具）	一時期、見積り依頼がバッタリと全く来なくなっていたが、最近、少しづつ見積り依頼が来るようになり、ただの偶然かもしれないが、少しは動きが出てきたかなと期待している。
	製造業（電気機械器具）	中国経済の影響か、中国向け輸出品が極端に減少した。
	製造業（精密機器）	県北に関しては、2～3割ダウンするような感じだと思っています。でも、各企業はそれなりにやっているとしますので、景気は横ばいかな？と思います。様子をみて方向を考える必要はあると思います。本当に新しい事をやらないと、先は見えてこないのかなと思います。
	金融業	地元大手企業関連の業者は、先行きが不透明なこともあり、積極的な動きはなく、就労人口の減少により、県北地区の人口に占める高齢者の割合は高く、老人介護関係の業者の進出が目立つようになった。
不動産業	新築住宅だけではなく、リフォーム市場も落ち込んでいる。	
雇用	公共職業安定所	生活関連・娯楽業、医療・福祉関係からの求人が減少傾向にあるように思われる。
	求人開拓員	今年度の新卒者（高卒）を10名採用したが、2か月で既に2名辞めてしまったそうです（製造業）。若者にとって、景気の動向よりも自分の都合の方が大事なようだ。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ネット通販や郊外型大型店舗の台頭により、ますます地方の既存商店街は衰退が激しい。水戸市の中心商店街も20数年前の活気が嘘のような状況になってしまった。
	商店街代表者	2015年8月21日から水戸市スーパープレミアム商品券が発売され、20%のプレミアムが付くため購買力を煽る効果が期待されます。しかし、上手に取り込まないと個店各店では使用される事なく、ほとんどがスーパーなどの食料品店・大型店・量販店・モール等で消費されてしまいます。当店では、1か月くらい前からさらにお得な企画をして、プレミアム商品券での購買を取り込む予定でいます。
	百貨店、総合スーパー	化粧品などの消耗品に対して、昨年の増税前の買い込みで、4月以降長く厳しい状況が続いていたが、ほぼその反動の影響は薄れたと見られる。
	スーパー	閉店・退店もあるが、新規出店も多く見られるようになってきたと思います。設備投資も増加している。物流が滞り気味と思われる。
	スーパー	商品の値上げにより、売上げは前年比103~105%で伸びているが、実質売上げは買上げ点数の減少で悪化している。
	スーパー	どこの町ではプレミアム何%で何億円とかの話がよく聞かれるので、今は買い控え感が強い。
	コンビニエンスストア	地域のプレミアム商品券に関しては、比較的購入に前向きな人が多いと思います。
	農産物直売所	年配者は、ギフト商品を毎年同じ価格で送られるが、若い方は安い単価へとスライドしている。
	楽器販売	輸入原材料の高騰からか、夏頃の一部商品の値上げがあります。せっかく物販が動き出し始めたところなので、水を差さなければいいと感じています。
	レストラン	原材料や食材などが高騰し、原価が高くなってきている。
	割烹料理店	4月、5月の悪天候の影響で野菜が高騰しており、仕入れのバランスがかなり崩れています。来年の消費税のことを考えると値上げはできませんし、安い食材を仕入れるのに遠くへ出かけるのとガソリン代がかかるし、難しいところです。
	観光型ホテル	例年、平日は年代層の高いお客様が主流だったが、最近は家族連れや中年層の小団体も見受けられる。
	旅行代理店	地方創生效果による特需。
	旅行会社	仕事は忙しいが、給料やボーナスに反映されていない。
	タクシー運転手	全国的には景気回復が叫ばれるが、本県ではまだその状況には程遠いように思う。
	タクシー会社	燃料費が高止まり傾向なのが痛い。労働集約型産業は人件費の削減が難しいので、経費削減を考えるが、燃料費が高いままだとそれも厳しい。
	タクシー会社	昨今の茨城県内観光地・食事処等テレビ放映の影響で、茨城県に観光するお客様からの観光タクシー予約が多くなっています。
	観光名所	6月よりいばらきプレミアム周遊券の発行もあり、初日からお客様の購売へ反応があった。周遊券でお得になった分を、日常使う日用品や食料品だけで使うのではなく、嗜好品等にも購売しているので、少しでもゆとりが生じると、それが大きな消費につながっていくのではないかと。
	レジャー施設	消費動向の二極化がさらに進んでいると感じている。満足できる品質の良いもの、あるいはプレミアム感のあるものに対しては高額でも出費を惜しまない一方で、日常消費にあたる部分では、極力安価で支出を抑える傾向が顕著である。
	ゴルフ場	車（個人）で来場される方が多いためか、現在でもプレー後のパーティ単価に伸びが見られない。
	ボウリング場	ファストフード店にお客さんがいない。
	スパ・銭湯	今年のゴールデンウィークの来館者は、高速道路（常磐）のUターン渋滞連報とともに通常月に戻って行ったのは、今年のゴールデンウィークの特徴と言えます。
	理・美容店	個人のお店が増えている気がします。
住宅販売会社	業種・業界による勝ち負けがはっきりしてきた気がする。	
企業	製造業(食料品)	車が少々カラフルになってきた。好況への願望か？
	製造業(印刷・同関連業)	少しずつだが、明らかに商品の値段が上がっているのが実感できるので、原材料の高騰で据え置きに限界が来ているのだろう。逆に、不動産物件の問い合わせが最近多いとも聞いているので、来年の消費税増税前になんとか購入したいと思っている人が増えている感じがする。
	製造業(窯業・土石製品)	仕事量が極端に少ないようです。当社も、継続中の仕事を除けば受注が落ちている。
	製造業(金属製品)	休日の輸入車のディーラーが非常ににぎわっていた。景気が良くなっているのだなと実感した。
	製造業(一般機械器具)	双葉台地近くに大きなアパート、その近くに分譲地、住宅が来年3月ごろまでにできるとか。
	製造業(精密機械器具)	これまで低迷をしていた関西地域、弊社大阪営業所の予算達成率が回復傾向にあり、今後の予測も明るい兆しがかげえます。
	建設業	団塊世代の間は、このような経済状況を感じたことがない。恐怖を感じるまでに来たのかと危惧する。
	運輸業(道路貨物運送業)	ホームセンターの家庭菜園や関連用品の売場がにぎわっている。
	金融業	昨今のカフェブームの影響からか、焙煎珈琲を手掛ける小規模事業者に対し、商業施設や医療関連施設からの出店依頼や相談が増えているとの話が出ている。大手有名店舗や地元店舗をみても、商品単価が高額にもかかわらず客足は好調の模様。価値を見出せれば、積極的な消費行動を取る傾向が地方にも波及してきた印象がある。
	サービス業(広告業)	取引先の支払いに、遅れが出るが増えた。
	情報通信業(情報サービス業)	郊外に新たなスーパーマーケットが開店し、多くの客が満ち溢れている反面、車不要で買い物可能な店は減る一方である。この影響なのか、最近、移動販売車が増えてきたように感じるが気のせいなのか。昔懐かしい引き売りを思い出す。
	サービス業(コンサルタント業)	業務の依頼が、都内寄りが増え始めた。
	雇用	求人広告
学校就業関係者		学生への求人は、昨年同様に順調である。これが、景気の上昇と結びつく大きな要因になると考えることは、難しいと思う。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計	商店街代表者	相変わらずの状況です。	
	スーパー	少しずつではありますが、値上がりする商品が増えています。	
	スーパー	衣料品の売上げは、ずっと5%から10%くらいずつ、毎月のトータルとしてはダウン傾向にあり、スーパーの衣料品は厳しい状況。	
	コンビニエンスストア	原材料の高騰で加工食品等の値上がりもあり、消費者の価格に対しての見方はシビアである。	
	コンビニエンスストア	7月より各市町で対応される「プレミアム付商品券」については、各店舗において期待が高い。経済への効果も大きいと思われる。	
	家電販売店	出退店が近隣であり、景気の好転方向へあると感じます。自治体においてもプレミアムクーポンの発行が決まり、上向きが期待出来ます。	
	農産物直売所	自店の周りで多数ある農家さんの状況は、どんどん厳しくなっていると思う。なので、なかなか景気が良くなることは、想像しにくい。以前よりも、距離の遠い生産者の来店が少なくなっている。	
	農産物直売所	顧客の購売心理はより細かくなっていると思う。色々な意味で選択は広がっている。	
	小売業（薬品店）	偽薬を買わされたと言うお客様が少なくない。	
	小売業（食品）	ガソリン等の値上げも気になる。今年に入り、やや値下げ気味だったが、ここに来てやや上がり気味のようだ。景気は変わらないと思う。	
	精肉店	全国的に行われるプレミアム付きクーポン券で、客の動きがいくらかでもあれば、多少景気の良い方に向かうのではないかな。期待したいです。	
	洋食食堂	景気には直接関係はしないが、6月に市議選がある。30代の立候補者が何人か確認され、沈滞ぎみの市政に新しい風が吹きそうだ。景気の循環にも新しい風が必要と思う。	
	割烹料理店	できれば、現金で収入がある方が良いが、クレジットカードの支払いをするお客さんが増えた。手数料を引かれるのでそれも困る。	
	日本料理店	1人あたりの単価が下がっている。	
	海鮮料理店	これから暑い日を迎える時期は、近くのショッピングモール等に家族と出かける方が多く、個人店は利益は上がりませんが、景気は良くないと思われます。	
	タクシー運転手	長期的展望も含め、当地の環境は商業、観光に乏しく、工業系に頼る経済的環境は非常に不安定と感じる。	
	ドライブイン	メロンなど旬の生鮮品は、順調に販売できております。	
	理・美容店	食料品の価格が上がった。	
	クリーニング店	この地域は東関東道が潮来から銚田へ通る所なので、土地がかかった人は、自宅・車庫・物置など建設している。	
	住宅販売会社	この夏の賞与支給額のニュースを見ても、業界によって明暗が分かれてきたことが感じられる。	
住宅販売会社	契約・派遣社員のお客様は、賃貸の保証会社の審査を通るのがやっと。住宅を買いたいとか、住宅ローンを組むとかは見通しが立たず無理。派遣社員が増えると、住宅を売る人が減る。景気に与える影響がある。		
	農業関係者	消費者の平均買物金額が、昨年より若干下がっている。	
	製造業（食料品）	円安が進んでいるので、原材料の値上げに困っている。	
	製造業（食料品）	人々の顔が少しずつ明るくなってきた。	
	製造業（食料品）	原油安が電気料金の引き下げにつながらないため、負担が重い。	
	製造業（電気機械器具）	あまり変わらない。	
	製造業（食料品）	倒産や廃業する会社が増えた。	
	製造業（金属製品）	食料品などが値上がりしている（内容量が以前よりも少なくなっている）。特に、価格は据置きなのだが中身が少量になった。	
	建設業	オリンピック景気に期待しますが、不安材料が多々あり、全面的に期待できない面があります。	
	建設業	遊休地には太陽光発電の施設が多く見受けられます。	
	運輸業（道路貨物運送業）	地域で耳にした話では、子供会組織が弱くなっているようである。若い父兄が地域活動に参加しなくなっているわけで、高齢化に対して大変困ることである。	
	保険業	景気の良い話が少なくなった。	
	不動産業	良くなる要因がないので、現在の状況がもうしばらく続くものと思います。	
	内装工事業	以前から感じていたが、表道路を歩いても裏道路を歩いても、人影をあまり見かける事がなくなりました。80年代初期は、子供たちの遊ぶ声や住民の往来もよく見かけましたが、人が居なくなるのは寂しいです。	
	サービス業	製造業の中で、景気の動向に大きなムラがあるように感じる。自動車を主体とする機械工業は活況、堅調であるが、個人消費に直結するような電気、電子業界は低迷が続くと考える。	
	雇用	人材派遣業	旺盛な生産と、これに連動した好業績企業の続出は誠に羨ましい限りです。しかしながら、逆にこれらの陰で引き続き、円安・原材料の高騰・業績面で大変苦労している企業のこと、十分注目していく必要があると思います。
		民間職業紹介業	最近、年配者（55～65歳くらい）の登録が増えている傾向にあり、年配者の方が若者よりずっと就労意識が高い。よって、年配者でも就労できる場の提供を検討している。
		公共職業安定所	平成28年3月卒 新規学校卒業予定者対象の求人受理説明を実施（H27.5.27）した。参加企業が前年度比36%増加した。
学校就職関係者		よくスーパーなどに出向くが、食料関係の価格が高くなっている。	

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	健康志向が以前に増して、高まっているような気がする。
	スーパー	最近のイベントで、母の日、父の日のステーキなどの予約販売があるが、お客様から、「家では誕生日を含め、イベントはここ何年も実施していないからステーキの予約が出来ない」と言う家が増えている。
	コンビニエンスストア	価値のある良い商品であれば、多少価格は高くても購入されていると思います。
	農産物直売所	どこも同じで給料日前は売上げが少ない。1万円札の入りが悪い傾向がある。
	小売業(生花店)	土浦市議会議員選挙で、新人が直前立候補表明(3か月前)で2位当選するなど、市民の間に変革を求める高揚感・期待感が感じられる。土浦協同病院の建物(外観)ができてきたので、土浦市おおつ野地内への薬局建設予定地看板があったり、そば店などの飲食店が開店したりしている。コンビニのリニューアルが多くなってきており、コンビニの再編の流れが出てきている。
	小売業(米穀)	新店(飲食店や物販)がオープンすると、行列が出来るほど混雑するが、時間が経つとあの混雑はなんだったのというほど。新規にオープンすると、一度は行こうと思うのですが、その繰り返しです。
	和食食堂	周りの景気に関しては、あまり変化がない(良くなっていない)と思います。地震の後、2年近くは本当にひどい状態でした。それに比べれば、今の方がすこし良くなっていると思う。
	和食食堂	ファミリー層の来客が減っている気がする。
	日本料理店	外食より、家庭は仕出し、または弁当を注文しての食事が多くなったような。ワインブームがきたような。法事、慶事の客単価が上がったような。そんな感じです。
	洋食食堂	近所で付き合ひの続いていた夫婦二人だけの70~80代の世帯が、持ち家を売ってマンションに引っ越していった。2件の空き家のうち、1件は3か月くらいで売れた。自営業のお客様の来店が全く減っていて、領収証を書くこともない。
	寿司店	身近な会議の収支決算などを見ると、残額が少なく今年の歳入予算が少なくなっている。大型店がなくなり、店を閉じる所が多くなってきている。高齢化と若年層の減少なども。また、経済連などの発表では、トップ企業の伸びがあったり、実質賃金が4月などは2年振りにプラスになったりと良いニュースが出ていますが、末端には届くでしょうか。身近に感じる事が出来るのでしょうか。
	都市型ホテル	近郊で、マンション・企業の建設があることから、レストランなど競合店も増えることもあるが、昼間人口増でのレストラン需要やペーカリーでのパンケーキも多少購入が見込まれる。まだまだ、TX沿線、土地開発など、建物の購入も進んでいるようであるので、景気は多少良くなっているのかと思われる。もちろん業種によるもので、サービス業はまだまだ冷え込み状態である。
	都市型ホテル	全体的に婚礼が減っており、結婚式場の撤退等が見受けられる。
	タクシー運転手	土浦地域内で、ヤマダ電機の閉店や、年内で結婚式ホールのマニフィカが営業を止める。
	タクシー運転手	不景気な世の中だからと、結婚を考えられない若者が多い。景気回復に期待を持っていないように思える。
	ゴルフ場	当ゴルフ場の来場者は、全体的に増加傾向にあり(季節要因を除いても)、やや景気が良くなっているように思える。
	ゴルフ場	景気に関してやや良くなっている感じはあるが、こういう時期に韓国等でMERSが発症し、人の多く集まる場所が敬遠されるようになったのは残念であり、国の適切な対応を望む。
	パチンコ店	相変わらず、メディアなどの情報などで見る景気回復といった様子は、仕事を通じては全く感じられない。あと、昨年の消費税引上げ時の時よりは、横ばい状態だと思う。
	ボウリング場	大企業のためのペースアップでなく、中小企業でも少ないがあったようだ。また、ボーナスにも色が付く期待感から、景気は鈍いが上向きになりそう。
	理・美容店	カット専門店からの戻りのお客様がいたり、多少パーマやカラーのお客様が増えた感じで良さそうだが、近くのコンビニや飲食のお店がなくなったりと、良かったり悪かったり、まだまだ先は見えない感じです。
住宅販売会社	徐々にではあるが、消費税増税(10%)への駆け込み的な受注が見られるようになってきた。	
企業	農業関係者	最近、集会・宴会等の企画もありません。グループのコミュニケーションもあまりありません。
	農業関係者	特定の特売日に消費が偏る傾向がますます強くなっている。
	製造業(食料品)	大手企業の賃上げや株価の上昇により、景気が良くなっているような報道がなされているが、円安による材料費等の値上がりがあり、我々小企業にとっては景気は良くなっていないように思う。
	製造業(金属製品)	最近、見積りの間合わせがあり、企業の努力している所が見受けられますが、決定しないのが現状であります。
	製造業(家具・装備品)	経営者が高齢化して夢がないようです。店の後継者がまずほとんどおりません。残念です。
	製造業(窯業・土石製品)	首都圏は、高速道路網の整備による工場の移転に係る新築立替などで活発ですが、地方は予算はついても役所の技術者不足があり、どうしても遅れがちです。また、役所では技術者の中途採用を進めており、30~40歳の中堅技術者が民間から移動しているようです。
	製造業(窯業・土石製品)	報道等では賃金の上昇等が取り上げられているが、周りを見るとあまり感じられない。
	製造業(非鉄金属)	製造業が好転の様子。反面、人員確保が難しくなってきた。
	建設業	市内、県南業者は、受注を多く抱え込み悲鳴を上げているのではないかと新規受注に対して、以前はお付き合いで、混乱を避けるため受注をする業者もいたのだが(中には早めに辞退する、こういった手法を利用する業者も少ない)、若手業者が増えている昨今、会合などにほとんど出席せず、業界内での一匹狼的な存在の業者が増え、考え方が読み取れない。
	建設業	設備投資関連の部材を作っている小さい会社が近所にある。親子でやっていたのだが、ここ数か月アルバイトを20人に増やした。また、似たようなもう一つの会社も忙しそう。大手企業の設備投資にからんだ仕事をしている会社は、どの会社も好景気のようなのだ。
	建設業	住宅関連では、仕事の減少傾向にあり、景気が一時より悪くなっていると思う。
	建設業	当社の受注工事ですが、老人ホームや保育園やら福祉関係が多い昨今です。
	金融業	税務署等からの、税金滞納による預金調査依頼が依然として後を絶たない状況にある。
	不動産業	不動産業という業種より、業態が大きな格差となっている。時代の変化に対応でき、顧客のニーズに応えた業者が良い結果を出している。アパート・マンションの賃貸や売買の域から脱出し、幅広く顧客に対応できた会社は業績が良く、個人経営から多角的に法人経営に広げた会社も全般的に良い。
	雇用	人材派遣業
公共職業安定所		景気は回復基調にあると叫ばれる中、中小企業ではその恩恵を受けていないとの声が多い。今後は新規求人数が増加すると予測しているが、企業整備や休業を行う企業がでてきており、一部に厳しさが見られる。
学校就職関係者		県南では、マンション開発が再び活発で勢いを感じるが、商店街などで人の動向を見ると、物の動きはさほどないように見受けられる。職場でも、特段レジャーなどへの出費の話もなく、最低限の生活主体の経済活動にとどまっていると感じる。
求人開拓員		求人開拓員をやっていると、最近非正規雇用よりも正社員募集が増えてきているような気がする。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	「アベノミクスは、到底期待できません。アメリカばかり気にしていて、日本の地方再生はできません。庶民を何だと思っているのでしょうか」等のお客様の意見が多いです。6月4日の毎日新聞に、全国4位の高収入の次城県の掲載あり。どこにそんな収入があるのでしょうか。何を基準にしているのが不可解でなりません。個人店は、もう日本にはいらないのでしょうか？
	商店街代表者	投資信託や株のセミナーが満員と聞いた。お金がある方が多いという事か。それもご年配の方が多そう。
	スーパー	特に、ハレの日に良質の商品の動きが良い。
	コンビニエンスストア	お客様はムダな物は買わないが、本当に良い物や価値がある物は買ってくれる。
	メガネ・時計販売店	市内で閉店するところが目に見えて増えている。
	製茶販売	お茶屋さんを営んでいます。お茶が売れません。いつもお客様だった年配の方々が、介護施設などへ行かれていて、以前のように持ち寄りのお茶会などがなくなったせいだと思います。静岡の間屋さんも同じことを言っていました。会社などでも、お茶汲みがなくなったように、家庭でもお茶を飲まなくなってきました。これからの若い世代は、どこでお茶の淹れ方を習うのでしょうか？小さなことですが、これと同じように「日本の文化」と云われる普通の生活から、日本の文化が消えていくのではないのでしょうか？会社も人を育てなくなると聞きます。学校でゆとり教育が始まってから、私たちはさらに本当の意味のゆとりをなくしているのではないのでしょうか。
	和食食堂	スーパーのチラシを見ていると、特売の価格が以前より高くなっていて（同じ品物が）、目を引く商品も少なくなっています。
	日本料理店	当地方においても人口減少が顕著となり、中心市街地も活気がなく先行きが不安だ。
	飲食業	電気・ガス・食材・食品などの度重なる値上げが、今後の景気にどう影響してくるのでしょうか。
	都市型ホテル	若者の多い近隣都市にて起業する人が多いように思う。夜は車の通りも少なく、コンビニに若者の姿もない。少子化も進んでおり、何かと不安になってしまう。
	旅行会社	大手企業は、景気上昇しているのでしょうか、零細企業にとってはまだまだだと感じます。若干の売上げが上がったところで、人件費に反映できるほどになってはいません。当然、給料が増えなければ、働く人たちは“景気回復”の感は全くないものと思われまます。消費を控えているようです。
	旅行代理店	団体旅行のお客様は少なくなりました。消費税8%と新料金になり値上がりしたこと、また、年金が減額し保険料がアップしたことなど要因は多数ある。庶民は生活苦です。老人ホームに入居できない、これからの老後はどうするかと訴えている。大変な時代がきたと話していた。
	タクシー運転手	地方の実状は変わらない。
	タクシー運転手	趣味に使える余裕ができた。
	ドライブイン	圏央道の開通後、観光バスの立ち寄りが増えた。
理・美容店	やはり消費税が上がった事の影響は大きい。この業界は真っ先に節約対象だから。	
企業	製造業（食料品）	周りの友人達は少しでも安く手に入れようと、多くの商品をネットで調べ、ネットで購入している。実際に店頭に出かけるのは、実物を確認するため。
	製造業（印刷・同関連業）	地方の零細企業もみな頑張っている。生き残るため、構造改革を念頭に日々何かを考え、出来るものから実行し頑張っているが日が当たらない。今一歩のところで力尽きる。身近に起きていることだが、一生懸命も身体も使い頑張れば、なんとかなる世の中（時代）にしたいですね。
	製造業（印刷・同関連業）	古くからの店の廃業や若年層の流出が目立ってきている。老舗と言われるような店でも、不況や後継者不足を理由に廃業が続いている。市内全体の沈滞が加速し、若年層にまであきらめモードが出てきているように感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	国産石材の需要増加の話は聞くが、量としては小規模に留まっているようです。大手の加工場が忙しくなると、活気が出て良いのですが、まだそこまでの状況は見られない様子（当社も含めて）。
	製造業（窯業・土石製品）	いつまでも、若々しく健康でいたいと思うのが人の究極の欲求だと言えます。テレビのコマーシャル、特にBS放送のCMにおいては、その健康食品ばかりが目にも度々入ってきます。各都道府県の長者番付けトップ20位までに、健康食品の製造販売を主とする会社の経営陣が名を連ねているのが、有名週刊誌の記事にありました。健康に関する事業に足を入れることが、事業の発展隆盛につながると思う今日この頃です。
	建設業	大都市・大手企業だけが伸びている傾向にある。
	建設業	最近の動きが良いのは、圏央道関連の工事くらいで、後は目立った動きがないです。
	金融業	太陽光事業は一段落したものの、一部大手企業の工場増築や新築が見られ、物流倉庫の需要は増加していくと思われる。
	不動産業	事業用物件の動きが活発化している。土地の上昇、横ばい、下降と地域によってばらつきが出てきた。
	サービス業（コンタクト業）	4月以降、色々な業種で仕事量が減少しているようです。中小零細規模においては、仕事量の減少が顕著（建設関連業では半月ほど遊んでいるような状態）に表れております。一方で、葉物（レタス、白菜、キャベツ）生産農家は、葉物の高騰によりかなりの収入増加となっているようです。
雇用	求人広告	製造業の話だが、海外の工場から仕事を引き上げて、国内に戻す動きがあるとの事だ。実際に採用に動くのは少し先の話だが、派遣会社や工場から採用の相談を受けている。ただ、この話は大企業やその関連会社の動きで、中小企業にはまだ影響を受けなさそうである。
	学校就職関係者	商品価格高騰（乳製品、野菜高騰）。